

平成6年度 2コース合同帰国研修員フォローアップチーム報告書

農業普及指導者IIコース/米の収穫後処理技術コース

平成6年12月

国際協力事業団



平成6年度 2コース合同帰国研修員フォローアップチーム 報告書

— 農業普及指導者 II コース —
— 米の収穫後処理技術コース —

平成6年12月



国際協力事業団
東京国際研修センター

東国セ
JR
94-011

平成6年度

2コース合同帰国研修員フォローアップチーム
報告書

－農業普及指導者IIコース－
－米の収穫後処理技術コース－

平成6年12月

国際協力事業団
東京国際研修センター



1124483 [7]

序文

本報告書は、国際協力事業団が農林水産省、食料庁、社団法人農業改良普及協会及び財団法人日本穀物検定協会の協力を得て実施している集団研修〔農業普及指導者II〕、〔米の収穫後処理技術〕の2コース、並びにその前身である〔農業普及〕、〔米のポストハーベスト〕コースに参加した帰国研修員に対するフォローアップ事業の一環として、エジプト及びタンザニアの2カ国において、帰国研修員、その所属先並びに関係機関等の訪問を通じ、上記研修コースの研修効果の確認、評価及び当該分野のニーズ調査に努めるべく、本年11月に派遣したフォローアップチームの調査結果を取りまとめたものである。

本書が、当該研修分野における各国の実情、帰国研修員の活動状況及び研修に係る要望等について、関係各位の一層のご理解をいただくための一助となり、今後の研修員受入事業の更なる改善に資することができれば幸いである。

農林水産省、食糧庁、社団法人農業改良普及協会、財団法人穀物検定協会、在外公館、JICA派遣専門家、JICA帰国研修員同窓会並びにその他関係者各位に対し、心からお礼申し上げます次第である。

平成6年12月

国際協力事業団
東京国際研修センター
所長 石崎 光夫

<エジプト>



ナイル川対岸のカイロの町を臨む



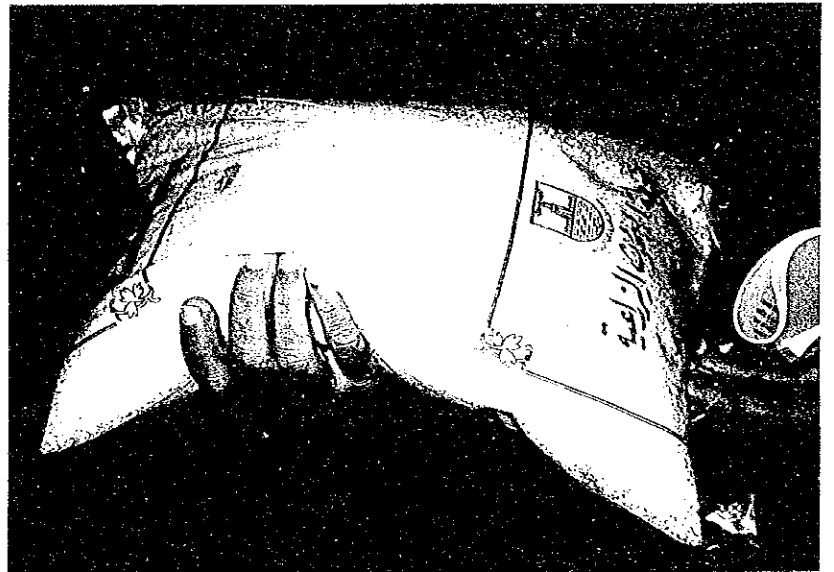
Ministry of Foreign Affairsにて



Alexandria Hills Companyにて



RTTC (Rice Technology Training Center)



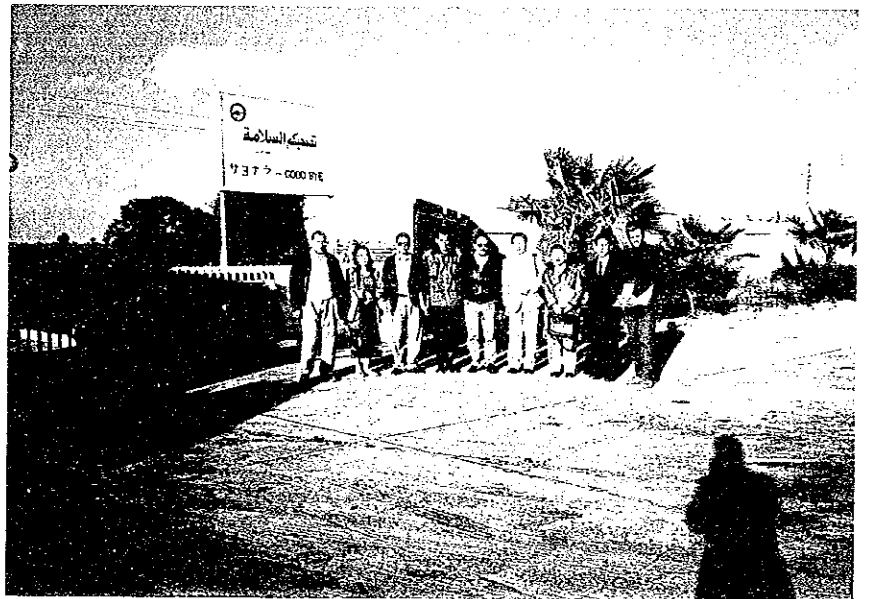
RTTCにて精米された米袋



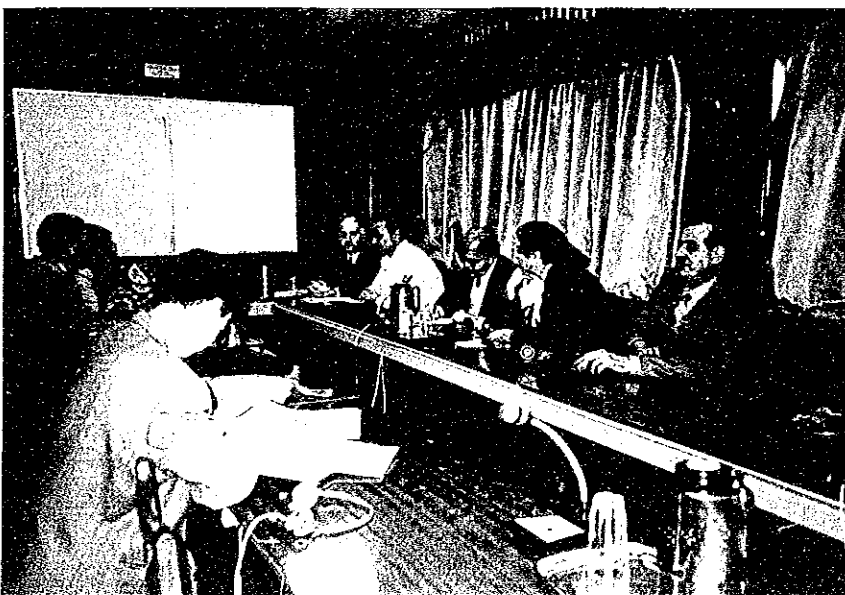
精米前



RTTCの講堂



RMC(Rice Mechanization Center) の
入口にて



Ministry of Agriculture / 関係者との会談

<タンザニア>
(ザンジバル)



Prisons Departmentにて



Ruru Rise Farmの精米機械



ザンジバルMinistry of Agricultureにて
帰国研修員と共に



モシにて帰国研修員との面談



Kilimanjar Agricultural and
Industrial Development Center



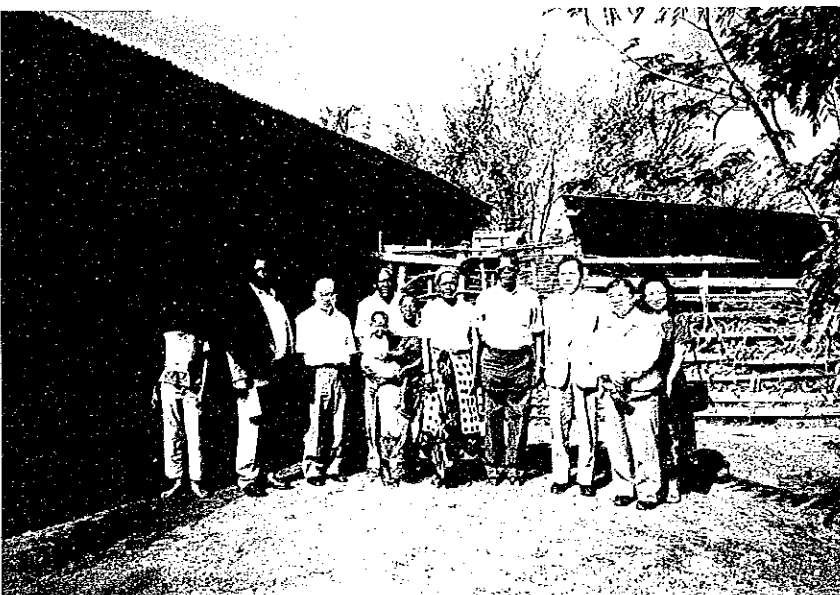
キリマンジャロ農業開発計画
プロジェクト／水田風景



ローマ・モシの精米工場



精米工場外の天日干し



聞き取り調査を行った
ローマ・モシ農村一家と共に

目 次

序 文

写 真

第1章 調査実施概要	1
1. 派遣目的	1
2. 派遣国・派遣期間	1
3. 調査分野	1
4. 訪問・視察先	1
5. 調査団員構成	1
6. 調査日程	2
7. 調査方法	3
第2章 調査内容	5
1. 当該分野の現状・問題点	5
2. 当該分野における課題(ニーズ)及びその対処の方策	7
3. 当該分野における人材育成	8
4. 研修コースの評価及び改善への提言	9
5. 日本での研修成果の把握	11
6. 研修候補者の募集・選考方法	11
7. アフターケアに対する要請及び評価	11
第3章 総 括	12
1. 農業普及指導者IIコース	12
2. 米の収穫後処理技術コース	13
第4章 関連資料	22
1. 主要面会者	22
2. 帰国研修員リスト	26
3. 調査団概要	31
4. クエスチョネア(統一)フォーム	33
5. 相手国技術窓口／関係機関用クエスチョネア集計	52
6. 帰国研修員用クエスチョネア集計	64
7. クエスチョネア(コース別)フォーム	74
8. コース別クエスチョネア集計	76
9. 英文所見	81
10. 持ち帰り資料一覧	87

第1章 調査実施概要

1. 派遣目的

本チームは、国際協力事業団が技術協力の一つとして実施している研修員受入事業のアフターケアの一環として派遣するものであり、集団研修の内、社団法人農業改良普及協会に実施を委託している〔農業普及指導者II〕コース及び、財団法人穀物検定協会に実施を委託している〔米の収穫後処理技術〕コースに関しエジプト、タンザニア両国における帰国研修員及びその所属先並びに関連機関等を訪問、面談等を行ない、また現地プロジェクトを視察し、当該研修コースの成果・実施効果の調査・把握、及び当該分野のニーズ把握に努め、以て、今後の当該分野の運営に資する事を目的とする。

2. 派遣国、派遣期間

派遣国：エジプト（カイロ、アレクサンドリア）
 タンザニア（ダルエスサラム、ザンジバル、モシ）
派遣期間：平成6年11月26日－12月13日

3. 調査分野

農業普及／米の収穫後処理技術

4. 訪問・視察先

エジプト； J I C A事務所
 日本大使館
 Ministry of Foreign Affairs
 Holding Company for Rice & Flour Mills
 Rice Technology Training Center (Alexandria)
 Alexandria Mills Company
 Rice Mechanization Center (Kafr El-Shieih)
 Ministry of Agriculture

タンザニア； J I C A事務所
 日本大使館
 Civil Service Department
 Ministry of Agriculture
 Prisons Department
 National Food and Agricultural Corporation
 Ruvu Rice Farms Ltd.
 Ministry of Agriculture and Livestock (Zanzibar)
 Kilimanjar Agricultural Training Center

5. 調査団員構成

団長・総括；	瀬尾 康久	東京大学 農学部 農業工学科 教授
技術指導；	磯野 定夫	(社)全国農業改良普及協会 海外部 事務局次長兼海外部長
業務調整；	玉藤 美香	国際協力事業団東京国際研修センター研修第一課

6. 調査日程

日順	月 日	曜日	調 査 内 容	視 察 先	備 考
1	11/26	土	(移動) 成田 ⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔		
2	27	日	(移動) ⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔カイロ		
3	28	月	表敬・打ち合わせ: JICA事務所、大使館 関係機関訪問	・ Ministry of Foreign Affairs ・ Holding Company for Rice & Flour Mills	
4	29	火	現地視察 (移動) カイロ⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔アレクサンドリア	・ Rice Technology Training Center	
5	30	水	現地視察 (移動) アレクサンドリア⇔⇔⇔カフルシェイク⇔⇔カイロ	・ Alexandria Mills Company ・ Rici Mechanization Center & Rice Field in Kafr El-Shiekh	
6	12/ 1	木	現地視察 表敬・報告: 援助窓口機関、JICA事務所 懇親会	・ Ministry of Agriculture	
7	2	金	資料整理		
8	3	土	(移動) カイロ⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔		
9	4	日	(移動) ⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔		
10	5	月	(移動) ⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔ダレス 表敬・打ち合わせ: JICA事務所大使館、 関係機関訪問	・ Civil Service Department.	
11	6	火	現地視察・面談	・ Ministry of Agriculture ・ National Milling Corporation ・ Prisons Department, Ministry of Home Affairs	
12	7	水	現地視察・面談 (移動) ダレス⇔⇔⇔⇔⇔ザンジバル	・ National Agricultural & Food Corporation ・ Ruqu Rice Farms Ltd.	
13	8	木	現地視察・面談 (移動) ザンジバル ⇔⇔ダレス 報告: 援助窓口機関訪問、JICA事務所 懇親会	・ Ministry of Agriculture & Livestock Development	
14	9	金	(移動) ダレス⇔⇔⇔⇔⇔キリマンジャロ 現地視察・面談	・ Kilimanjar Agricultural Training Center	
15	10	土	資料整理 (移動) キリマンジャロ ⇔⇔⇔⇔⇔⇔		
16	11	日	(移動) ⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔		
17	12	月	(移動) ⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔		
18	13	火	(移動) ⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔⇔成田		

7. 調査方法

調査団出発前に、JICAエジプト事務所及びタンザニア事務所を通じ帰国研修員、帰国研修員所属先、関係機関及び技術協力窓口機関へ質問表（別添関連資料：4）を送付、現地到着時に回収し、これをもとに下記の調査項目に従って面接調査を行った。また、各関係機関に対しては上記質問表以外に当該分野に係わるより具体的な質問をまとめた質問書（別添関連資料：5）を送付、併せ関係施設の視察を実施し、当該分野に係るニーズ調査及び現状の把握に努めた。

なお、各国における質問表送付先は以下の通り。

a. 帰国研修員（別添関連資料：2）

b. 帰国研修員所属機関・関係機関

エジプト

1. Agrarian Reform Organization
2. Central Administration of Agriculture Extension Service
3. Headquarters of Holding Company for Rice Marketing & Rice Products, Ministry of Supply & Home Trade
4. Rice Research Development Programme Agricultural Research Center
5. Agricultural Mechanization Research Institute
6. Rice Mechanization Center
7. Rice Technology Training Center
8. Rice Research & Training Center
9. Rice Mechanization Center
10. Agricultural Research Center

タンザニア

1. National Milling Corporation
2. National Agricultural & Food Cooperation
3. Ministry of Agriculture & Livestock Development
4. DAKAWA Rice Farms
5. Ministry of Agriculture
6. Rainted Rice Development Project

c. 技術協力窓口機関

エジプト

- ・ Ministry of Foreign Affairs, Foreign Students Training, Financial, and Technical Cooperation.

タンザニア

- ・ President's Office, Civil Service Department, Training and Recruitment Division.

[F/U調査項目]

	評 価	アフターケア	ニーズ調査
技術窓口	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当該分野研修の評価 2. 研修員の選考 3. 持ち帰り技術の活用 4. その他のコメント 	<ol style="list-style-type: none"> 1. アフターケアについての要望 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当該分野研修の位置付け 2. 人材育成計画 3. 他国援助
関係機関 所属先	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業務内容 2. 研修の評価 3. 研修員の選考 4. 帰国研修員の評価 5. 活用法 6. その他のコメント 	<ol style="list-style-type: none"> 1. アフターケアについての要望 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関係機関の制度と現状 2. 技術水準について 3. 職員研修について 4. 本邦研修への要望 5. 第2国研修要望 6. 各コースの妥当性
帰国研修員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予備知識 2. 活用状況 3. 普及状況 4. 当該分野の技術的問題点 5. コース内容、カリキュラムの訂正 6. 日本理解 7. 研修員の定着状況 	<ol style="list-style-type: none"> 1. アフターケアについての要望 	

第2章 調査内容

1. 当該分野の現状・問題点

(1) エジプト

a. [農業普及]

エジプトは食料の輸入国であり、農政の大きな課題は食料の自給である。その課題解決のためには改良技術の普及による農業生産性の向上と農家の経営能力の向上が必要で、この視点からも普及事業の役割が期待される。

エジプトは1953年には独立した普及制度を持つようになり、1994年現在の組織は別図のようになっていて、普及行政は農業普及局長補佐のもとに、RURAL DEVELOPMENT, AGRICULTURAL CENTER & DEMONSTRATION FIELDS, EXTENSION METHODS, PROGRAMMING 4部の監督官

(SUPERVISORY)がついて、普及に関する意見の調整をして施策に上げるようになっていて、

普及職員の配置については、地方段階に地方普及指導監督官が置かれて、村落に配置されている普及員の指導にあたる。村落は約4,400あり、ここには普及所が置かれてLOCAL LEADERとリンクしている。

普及活動の主要な業務としては、(1)国の農業施策の推進をする、(2)研究の成果を農民に移転する、(3)人づくりと農村社会の改善に協力する、ことがあげられるが、これらの業務を担当する普及職員は、普及員が約6,000人、専門技術員が約1,700人で、普及員一人が約200戸を受け持つ計算になる。また地方レベルにおいては、郡に普及所及び展示圃場が設置されていて、作物の新品種や農薬、肥料などがあり、管轄地域の農民に技術指導をすることになっている。

普及員の活動形態としては、(1)農家や圃場を訪問する[個別指導]、(2)巡回展示や座談会、それに集団学習をさせる[集団指導]、(3)また不特定な集団や一般農家にパンフレットを配布したり、映画やスライド等で情報を伝える[一般指導]に分類される。

図1. エジプトにおける普及関係組織図(中央段階より村落段階まで)(別図)

b. [米の収穫後処理]

エジプトの米生産は近年増産傾向にあり、1992/1993年には約20万トンを中心近東諸国を中心にヨーロッパ諸国にも輸出している(出典:不明)。年間降雨量の少ないエジプトでの稲作は、ナイル川の水資源に依存した灌漑によりきわめて高い生産性を誇っている。しかし、近年、ナイル川上流の諸国との水利用問題が懸念されており、稲作だけでなく農業全体について水を節約した農業生産を模索している。エジプトでは最近、農業政策の統制解除が行われ、農業は自由化の方向に大きく転換されつつある。米の収穫後処理の分野でも、我々が訪れた Holding Company for Rice Flour & MillsをはじめとするPublic Sectorは、Private Sectorとの競合で新たな対応を迫られ、緊急課題となっている。アレキサンドリアのAlexandria Mills Companyでは、雇用機会を増やす目的から、実際に必要な200名程度の人員に対してそれをはるかに越える1000名もの職員を雇っているとのことであった。また、そこで使われている機械設備はPrivate Sectorで使われているもの比べて大規模なためランニングコストが高くつくことなどから、Private Sectorに対抗するために、品質の高い精米加工、糠、粃殻、碎米等を利用

した副生産物の開発，設備特に低温貯蔵室の食品の貯蔵への利用等を考えた有効利用など種々の対策を講ぜざるをえない状況にあるようであった。

図3. エジプト組織機構図 (別図)
別添1. エジプトの米事情

(2) タンザニア/ザンジバル

a. [農業普及]

タンザニアは1961年に独立したタンガニーカと1963年に独立したザンジバルが1964年に統合した連合共和国である。政治体制や行政事務はタンザニア連合共和国として一体化しているが，両国を行き来するには例え飛行機で15分の距離であっても入出国手続きが必要である。

タンザニアは建国以来社会主義路線を進めていたが，経済政策の失敗及び官僚化による非効率性に対する国民の不満等もあって，1989年から自由経済性を実施して，農産物流通の自由化，公社・公団の民営化，及び多くの規制を緩和した。これにより社会生活の便宜性はよくなったが同時に競争社会にもなった。例えば営利事業への参入・投資についても規制は緩和されたが，長年[等しく貧しく]暮らしてきた多くの国民には資本の蓄積がなく，営利事業によるメリットは現在のところは一部の段階又は外国人資本家(企業家)が先取りしている状況である。また農業関係の公社においても，従来のように一つの農産物だけを取り扱っていたのでは経営が成り立たないために，食品加工や倉庫業等の多角的な経営に取り組まざるをえない状況になっている。

タンザニアの主要産業は農業で，1992年(推定)で約2,800万人の人口のうち80%が農業人口だと言われている。しかも農家の経営規模は10ha以上のものもあれば0.1haというものもあって千差万別で，小農対策が大きな課題になっている。

タンザニアの行政機構は，中央の農業省が州-地方-郡-それに数か村を包括しているWARD-村に繋がっているが普及関係の組織はザンジバルのそれとは多少異なっているし，普及職員の数にも違いがある。これをタンザニアとして全体的に見れば以下のようなものである。

タンザニアには約8,900の村落があり，普及員はおよそ7,000人である。普及活動はグループ育成をして集団指導をし，T&Vシステムを活動方式にしている。

州段階には農事事務所が置かれ，ここには普及官がおり，県段階では普及官のもとに畜産，普及，作物，水利関係の専門技術員がいる。また郡段階にも農事事務所が置かれて，普及員が所属している。村落段階には現地普及員が駐在しているが，全ての村落に普及員が駐在しているわけではない。

図2. タンザニア/ザンジバル普及関係組織図(中央段階から村落段階まで)
(別図)

b. [米の収穫後処理]

タンザニアにおける1984/1985年度から4年間に米の生産は急激に増加しており，これは耕作面積の増加と共に単位面積当りの収量増加による。米は，タンザニアの主要穀物の一つになってきている。また，日本からの資金協力による水稻栽培普及を中心としたキリマンジャロ州のローアモシ灌漑計画(水田1100ha，畑地1200ha)は，1993年3月に終了したが，ここでは6t/haの粗収量をあげるまでに至っている。この稲作技術は形を変え周辺地域に波及し，ローア

モシ灌漑計画上流地域（約500ha）が開田され水源に恵まれた他の地域にも波及しつつある（出典：国際農林業協会〔タンザニアの農業〕1992年3月）。タンザニアにおいても最近農業政策の自由化が行われており、国の施設が民営化されて民間に移行しているというようなことも起こっているようである。米の収穫後処理の分野においては、上述のタンザニアにおける米事情を考えると今後その重要性がますます高まっていくものと考えられる。

2. 当該分野における課題（ニーズ）及びその対処の方策

(1) エジプト

a. [農業普及]

普及職員の活動状況は1-(1)のとおりであるが、その中における課題としては、(1)普及活動に必要な資機材や車両等の交通手段の対応が充分でない、(2)試験研究機関との連携が弱い、(3)普及員の資質のレベルアップが必要、(4)専門技術員の機能を強化すること、が指摘されている。このことについては既に1994年に普及関係部局の再編成が行われたので、今後この体制が普及活動の予算をも含めてどう機能するのかに係っている。特にエジプトの普及活動がT&Vシステムを導入しているが、この活動体制には巡回指導をするための交通手段が不可欠である。また普及員の報告を定期的に受けて適切な指導をすると共に普及員の資質を向上させるための研修を行う専門技術員の機能が重要である。

b. [米の収穫後処理]

(1) - b. で述べたようにエジプトでは農業政策の自由化が行われた結果、いろいろな面で競争が生まれ我々が訪れた施設及び精米関係の分野では、米の品質を高めること、粃殻、糠、碎米などの副産物加工による米利用の拡大が民間との競争に勝つための主たる課題と考えているようであった。米の品質向上については、精米における品質向上だけでなく、貯蔵分野での改善の必要性を強調していた。例えば、サイロでのバラ貯蔵、アフラトキシンの防除、殺虫剤の話題が出された。我々は米の貯蔵施設を見る機会がなかったが、訪れたAlexandria Milling Companyで輸入された大きな袋詰め的小麦が、屋根がけしただけのところを大量に積み上げられているのを見たが、米の貯蔵についてもまだまだ同様の問題があるものと想像された。米の副産物有効利用については、糠、碎米のほかに、粃殻について家畜の飼料化、土壌への投入、steel industryでの利用、また、意味がよく理解できなかったが紙やガラス（クリスタル）への利用の可能性などの話がでていた。また、parboiled riceの新しい連続処理装置を入れたいという希望を持っているようである。parboiled riceによることによって米のtotal profitが向上するということがあった。実際の精米現場及び研究分野でも、米の品質検査に関して高い関心が向けられており、現場では検査機器を使った実習にたいする強い要望が聞かれた。また、Kafer El-ShikhのAgriculture Mechanization Centerでは、乾燥実験の条件によって米の品質がどのように左右されるのか調べているが、米の品質判定機器がないため困っているとのことであった。

(2) タンザニア／ザンジバル

a. [農業普及]

普及事業にT&Vシステムを導入しているタンザニアにおいては普及員が村落へ巡回指導するときの交通手段や、村落の農家を指導する場合の視聴覚機器などが欠如している。普及員は村落又は集団へ1ヶ月に1回の割合で巡回指導をすることになっていて、一人の普及員が担当する農家は500-1500戸で地域も広い為に、移動にも苦勞しており普及員一人に1台の自転車が必要だと言う。

b. [米の収穫後処理]

米の収穫後処理技術の重要性は認識されてはいるものの、その技術を応用すべき施設・機器設備がほとんど無いというのが大きなネックのようであった。

3. 当該分野における人材育成

(1) エジプト

a. [農業普及]

専門技術員の活動では、研究者と現地技術者とのリンケージ、現地試験の打ち合せ、展示圃場の指導、普及員の研修、国が奨励する生産活動への参加、普及プログラムの計画・実施・評価など、今までも行われていたこれらの活動を一層活性化させることが期待されている。

こうした普及体制の強化は当然研修活動に連動しており、JICAが実施している海外集団研修農業普及指導者IIコース(以下[普及コース]という)は国段階で一元的に取り扱われ、4名の監督官において調整されている。従って、[普及コース]への派遣についても帰国研修員の研修報告を受けた上で、次の参加における研修課題を検討している。

b. [米の収穫後処理技術]

ポストハーベットの分野の人材は人数的にはかなり豊富ではないかとの印象を受けた。訪問先でかなりの人がでてきてこの分野の専門的、かつ活発・積極的な意見を聞くことができた。意欲的に現在の課題に取り組んでいることが窺えた。途上国としては比較的充実している、エジプトにおける大学教育あるいは研究機関のバックグラウンドによるものと思われる。

エジプトにおいては研修で学んだことを積極的に自分たちの現場に取り入れようとしており、帰国した研修員の最新の知識・技術情報に期待するところが大きい。帰国研修員は帰国後セミナーなどで帰国報告を行ない研修成果を多くの同僚たちに発表している。研修で習得した知識・技術はまたエジプト国内でセミナーなどを開きその普及を図っている。さらに、第三国研修を積極的に行っており、主にアフリカ諸国(スーダン、ソマリア、リベリア、イラク、来年からは南アフリカ)などへの知識・技術移転を図っている。

(2) タンザニア/ザンジバル

a. [農業普及]

普及員は定期的に村や集団を巡回して、地域の中核的農家であるコンタクトファーマー・集団のリーダー又は個別農家に面接して討議をしたり技術指導をして普及員や専門技術員に村や農家の実状を報告することになっている。国・州・地

方段階には農事事務所が置かれており、普及官及び専門技術員が普及員の指導にあたっているし、普及員に対しては定期的に研修をしている。

近年、市場経済の浸透とともに、農家はメイズや米のような食料生産に加えてココナツ、チリ、のような換金作物を導入するようになってきたため、普及員にも経営感覚や新しい農業技術の修得が必要になっている。こうしたことから普及員への研修カリキュラムにも改善が求められている。

b. [米の収穫後処理]

タンザニア/ザンジバルでは会った帰国研修員の場合、折角学んだ知識を活用する機会が少ない、あるいは農業政策の転換により施設が民間に移管され活用する機会を失ったということであった。日本の高度な知識・技術がそのまま応用できる社会（農業）体制がまだ整っていないということであろう。したがって、知識・技術の中から、その国に適応した技術を創造できる人材が要求される。

タンザニア/ザンジバルでは、多くの場合機械設備がないため、研修で学んだことを実行することは難しいが、機械がある場合は分解・組み立てを行ない調整を試みたということで、機会があれば学んだ知識を応用しようという姿勢があることは知ることができた。ただし、実地に应用する機会が少なくても収穫後のロスが多いことから、研修で学ぶ知識・技術自体が有用であると認識しており、研修への期待、評価は高い。研修報告はセミナーを開いたり、レポートを回覧したりして行っている。時には、口頭の報告だけということもあったようである。

4. 研修コースの評価及び改善への提言

(1) エジプト

a. [農業普及]

今回のフォローアップ調査は上述のもとで行ったが、エジプト側の[普及コース]についての期待は専門技術員及び普及行政担当職員を研修の対象にしていることである。このことは研修参加者の資質向上はもとより、帰国後においては自国の普及員を研修していく上で大きな役割を果たすからである。特に普及方法

(METHODOLOGY) についての期待は大きい。またカントリーレポートを中心とした参加国の普及職員同志の討議や、日本各地での現地研修における普及センターの訪問又は日本の普及職員との意見交換及び彼らの普及活動を見聞できることを大きく評価している。

b. [米の収穫後処理]

研修コースに対するニーズはアンケートに見られるように、カリキュラムに関してはエジプトではparboiled rice、副産物の利用の講義、実習に対するものが多い。要望している講義については、いずれも現在行われており問題はないと思われる。parboiled riceの実習に関してはエジプトに限らずアフリカの国では関心が高い。parboiled riceの実習に関しては現在は行われておらず、これを研修の中で行うのは困難とも思われるが可能性を検討してみるのもよいかもしれない。

エジプトにおいては研修での習得技術の活用はアンケートに見られるように多くの点で意欲的に行われていると思われる。また、第三国研修を通して知識・技術の移転も積極的に行われており、研修の効果が有効に活用されているようである。

(2) タンザニア

a. [農業普及]

[普及コース]のG. I. はタンザニア政府農業省へ入ることになっていて一元的に取り扱い、参加者の選考については各部局と調整している。この際タンガニーカとザンジバルの両国でお互いに不公平にならないように配慮しているという。帰国研修員の報告の内容は各部局に知らせるとともに、セミナーを開催して帰国研修員に研修の結果を報告させるとともに、次回の研修課題をまとめることにしている。研修課題については、普及方法(METHODOLOGY)の習得の希望が多い。但し近代的なマスメディアを使った普及方法については、国の状況に因って研修どうりのことはできないので、自国なりのやり方を工夫することになる。またタンザニアは建國してまだ若い国なので、[普及コース]への研修員の選考・参加にプライオリティーをつけて欲しい、との要望がでている。

b. [米の収穫後処理]

タンザニア/ザンジバルでは、開発途上国の現状に合わせた知識・技術を教えて欲しいとの意見があるが、この点に関してはいろいろ議論のあるところであろう。機械設備の保守・修理、分解組立の講義、実習に関する要望があるが、研修期間とメーカーの意向を考慮する必要があるだろう。その他、カリキュラム以外のこととしてメーカーでの実習時間の増加、研修期間の延長にたいする声が多かった。

タンザニア/ザンジバルでは、習得技術の機械施設などへの活用は限られているようであるが、習得知識などは直接農家への知識移転を通して行われる場合もあるようである。

5. 日本での研修成果の把握

(1) 帰国研修員の動向・定着度

エジプトにおいてはほとんどの研修員が帰国後も当該研修コースで得た知識・技術を活用できる部署についている。

タンザニアにおいては資本主義体制の導入に伴う国営企業の民営化等により今まで働いていた職場がなくなったり、インフラ整備が不十分で、思うような活動が行えなかったりと、帰国研修員が日本で学んだ知識・技術を活用する場があまり無いのが現実のようである。

(2) 帰国研修員への評価

エジプト・タンザニア両国において帰国研修員にたいする評価は非常に高く、特にエジプトでは、第三国研修の実施に当り大きな戦力となっている。

6. 研修候補者の募集・選考方法

エジプトにおいては、窓口機関であるMinistry of Foreign Affairsが当該コースに関係があると思われる国内の組織・機関に対し募集を行ない、政府の政策を根底に置き、資格要件・経験による選考を行っている。

タンザニアにおいても同様に、窓口機関であるCivil Service Departmentが関係機関等に案内・募集を行ない、資格要件・経験による選考を行っている。なお、特筆すべきは、同等の資質を有した研修候補者の場合、女性候補者を優先するとしていることである。

7. アフターケアにたいする要請及び評価

新しい知識を得るためにセミナー（フォーラム）開催や、ブラッシュ・アップの為の研修参加を希望する帰国研修員が数名いた。また、帰国後も日本の各関係者とのコンタクトを取りたいとの意見が多く聞かれた。技術情報紙等を通し、新しい知識を得たいので定期的に送付を希望する声も多く聞かれた。

第3章 総括

1. 農業普及指導者 I I コース

(1) 大使館の訪問を通じて；

〔普及コース〕についてエジプトとタンザニアの2国において、日本大使館、JICA事務所、当該国受入窓口、それに帰国研修員に面接して、それぞれの機関から本コースに関する評価なり要望なりを頂いた。

まずエジプト及びタンザニアの大使館においては、それぞれにおける国の状況や国際的な視点からとらえた農業問題の説明を聞くことができた。特に古い歴史を持っているエジプトと新しく自由経済制度を導入したタンザニアの状況とは対象的であった。

今後エジプトは北アフリカにおける農業の先進国として第3国研修などを開催するような指導性を発揮して行くことと思われるが、一方では水資源の確保がエジプトの大きな課題であり、スーダン等のナイル上流域の諸国の開発につれて水資源の利用形態に大きな変化がでてくることであろう。

タンザニアは自由経済制度が始まったばかりで、市場競争の結果、農家や農業地域間において階層分化が起こってくるものと思われる。その例としてはキリマンジャロ州ローアモシ地区の開発と営農には関心が持たれる。

(2) JICA事務所の訪問を通じて；

エジプト及びタンザニアのJICA事務所には調査活動についての必要な措置を講じて頂き、フォローアップ調査は支障無く終了した。また〔普及コース〕に関する業務についてはJICA事務所ではその参加者募集から選考等に至までご協力を頂いていることがよく解った。

またタンザニアJICA事務所においては青年海外協力隊隊員の普及職員出身者の活動状況を知ることができた。このことは現在本会始め普及関係者が普及職員に対して呼びかけている海外協力への参加についての活動に参考となるところが大きい。

(3) 当該国政府受入機関の訪問を通じて；

エジプト及びタンザニアの政府受入機関における調査では、両国とも〔普及コース〕が当該国の普及行政の一環として組み入れられていて〔普及コース〕のカリキュラムが当該国の研修事業とリンクしており、研修の内容では〔普及方法〕が本コースの大きな特徴だと評価している。

またJICAが送付する〔普及コース〕のG. I. の受理から参加者の募集・選考・派遣まで一元的に取り扱っていた。

研修成果の積上については、エジプト・タンザニア両国とも帰国研修員から報告を受け自国の研修計画と照合するとともに、次回の派遣研修員には前回の成果を伝えて〔普及コース〕の参加に際しての課題を検討させている。

(4) 帰国研修員の訪問・面談を通じて；

面接した帰国研修員は別添資料のとおりである。また帰国研修員は併せてアンケートに回答している。アンケートの回答について共通していることは研修課題に中の〔普及方法〕と〔現地研修〕である。この2つの課題は普及活動における身近な課題とその実践の実例である。研修員が〔普及方法〕を自国で展開していくには社会的・経済的な背景の相違があるが、どの研修員もそれはよく理解していて、研修の成果を自国の状況に併せて実践に結び付けようとしている。また講義は英語でダイレクトが望ましいと要望していることについては、本コースが現在可能なところからそれを行おうとしていることと意見が一致している。

*調査員所感

フォローアップ調査に際して最も関心が高かったことは、[普及コース]の研修内容が相手国の普及行政及び研修事業とリンクしているのかどうかということと、帰国研修員の研修成果が次回の参加者に伝わり、それに積み重ねて新しい研修の課題が出ているのかどうかを確認することであった。

これらの点については受入機関や帰国研修員との面接を通じて確認できたし、更に[普及コース]の取り扱いが一元的になされていることが分かった。このことは[普及コース]の実施者と相手国の受入担当者とが業務的にダイレクトに繋がり、いわゆる「顔が見える関係」で対応ができることと思われる。

次に[普及コース]では対象としている研修員は専門技術員又は普及行政の担当官であるが、それだけに研修員の学歴は高い。[普及コース]の研修において理論的な討議は重要であるが、一方では理論と実践の関わりやその事例を体得してもらうことが本コースの大きな特徴であることが今回の調査において確認することができた。

2. 米の収穫後処理技術コース

*団長所感

今回の調査で一番印象づけられたことは、エジプトとタンザニア・ザンジバルとの農業発展レベルの違いと、そのために研修で習得した知識・技術のそれぞれの国での活用・普及程度に大きな差があることであった。ふりかえって、現在10ヶ国からの研修員を受け入れている米の収穫後処理技術コースの研修効果を活用・普及の面から考えてみると、訪問したエジプトとタンザニア・ザンジバル以外の国の実状は詳しくは分からないが、国によってかなりの違いがあるものと想像され、各国のニーズに対応した研修効果をあげることの難しさを実感させられた。

研修に対する期待はいずれの国でもきわめて高く、研修員割当の増加、研修期間の延長などの要望が多かった。また、帰国研修員の帰国後のアフターケアに関して、もっと情報が欲しいとの要望が、多くの訪問先で聞かれた。各国にはJICA研修員同窓会があり、JICAからの情報はそこまでは届くが、それから先の地方に分散している帰国研修員までは、日本で想像するようには簡単に届かないのが実状のようである。研修コースで簡単なnews letterのようなものでも帰国研修員各個人へ定期的に送るなどして、最新の技術情報等の提供をするとともに、帰国後もコースへの関心、JICAへの関心、さらに日本への関心を持続させることが、研修効果の向上という面からだけでなくいろいろな面で重要であると考えられる。

図 1. エジプトにおける普及関係組織図 (中央段階より村落段階まで)

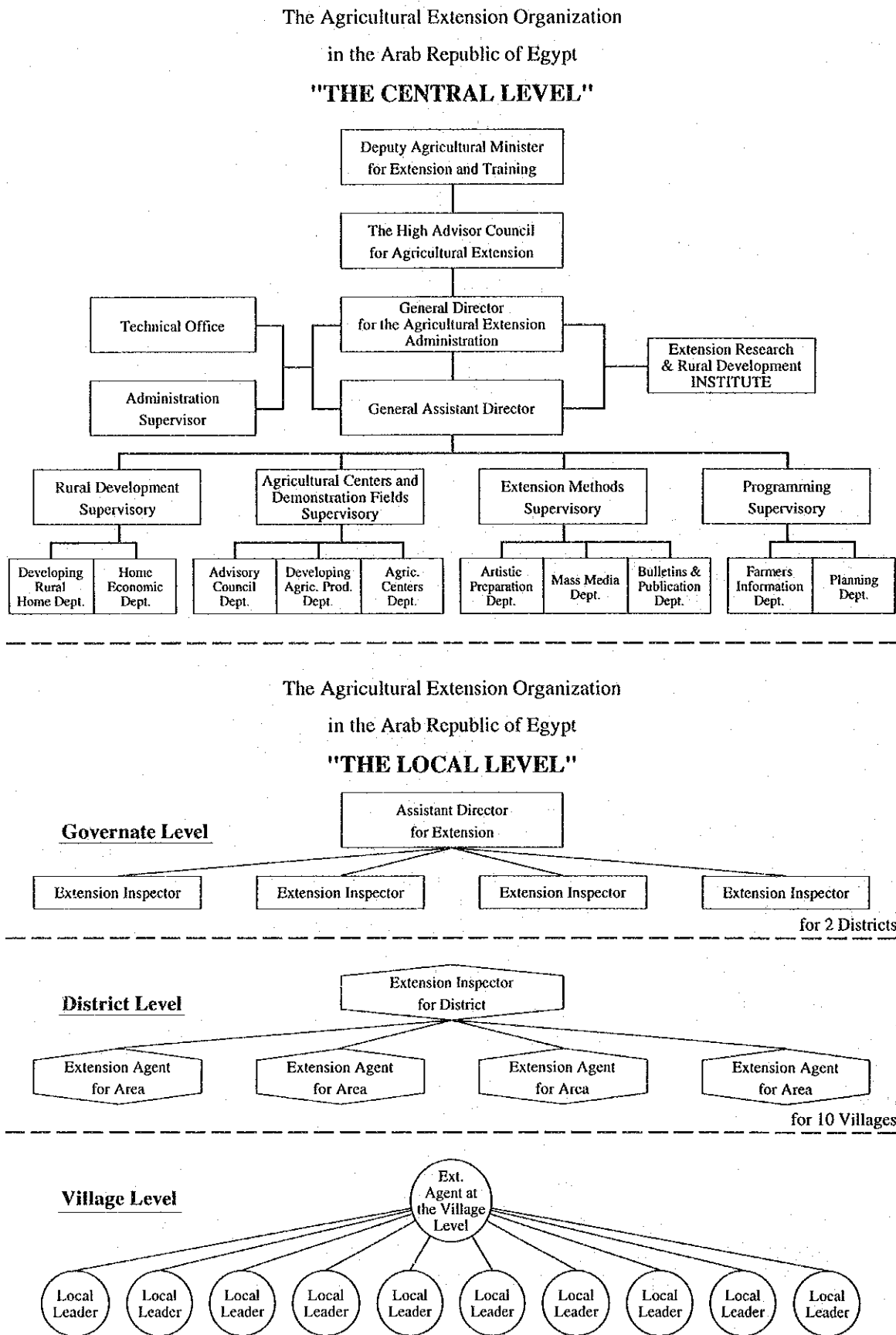
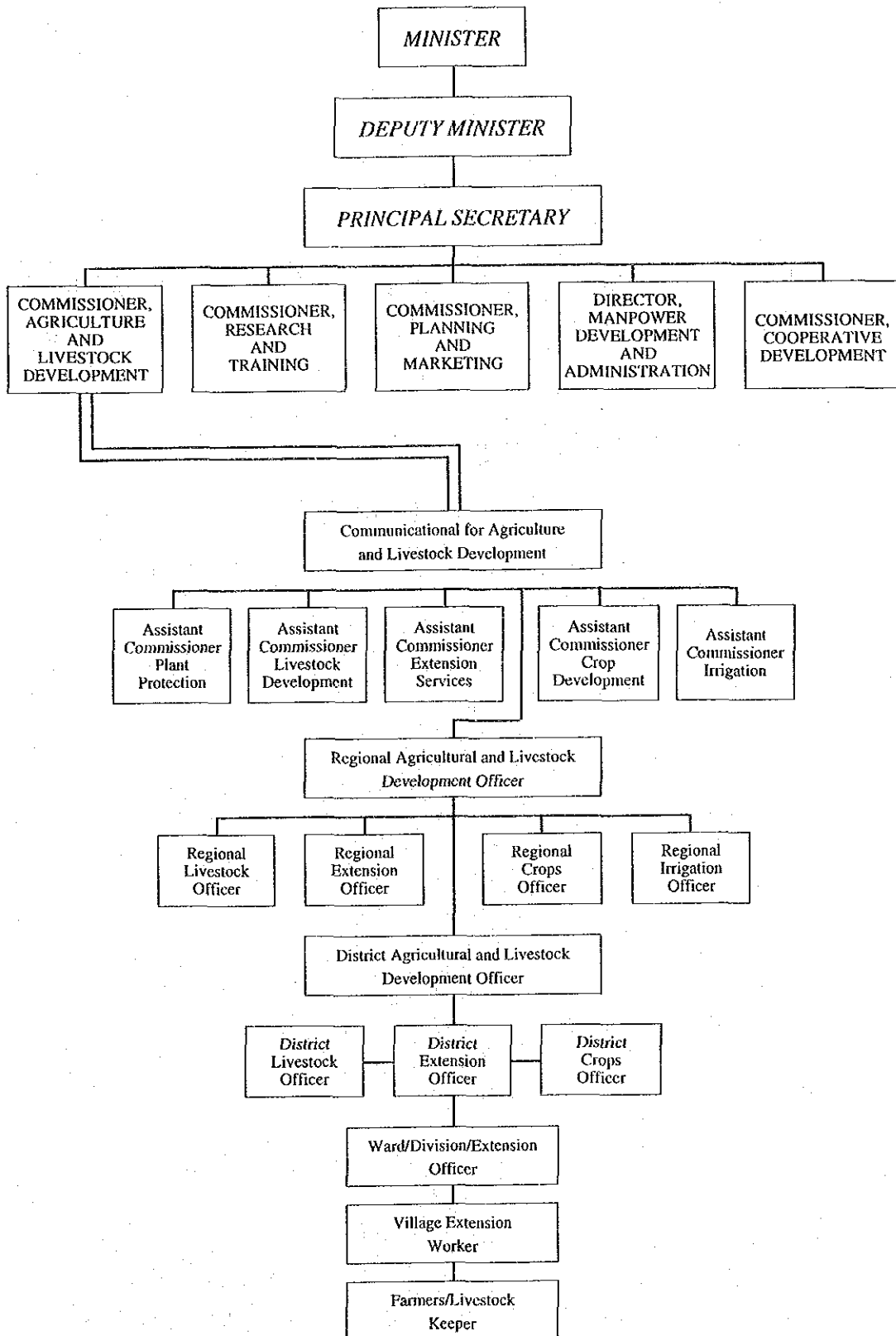
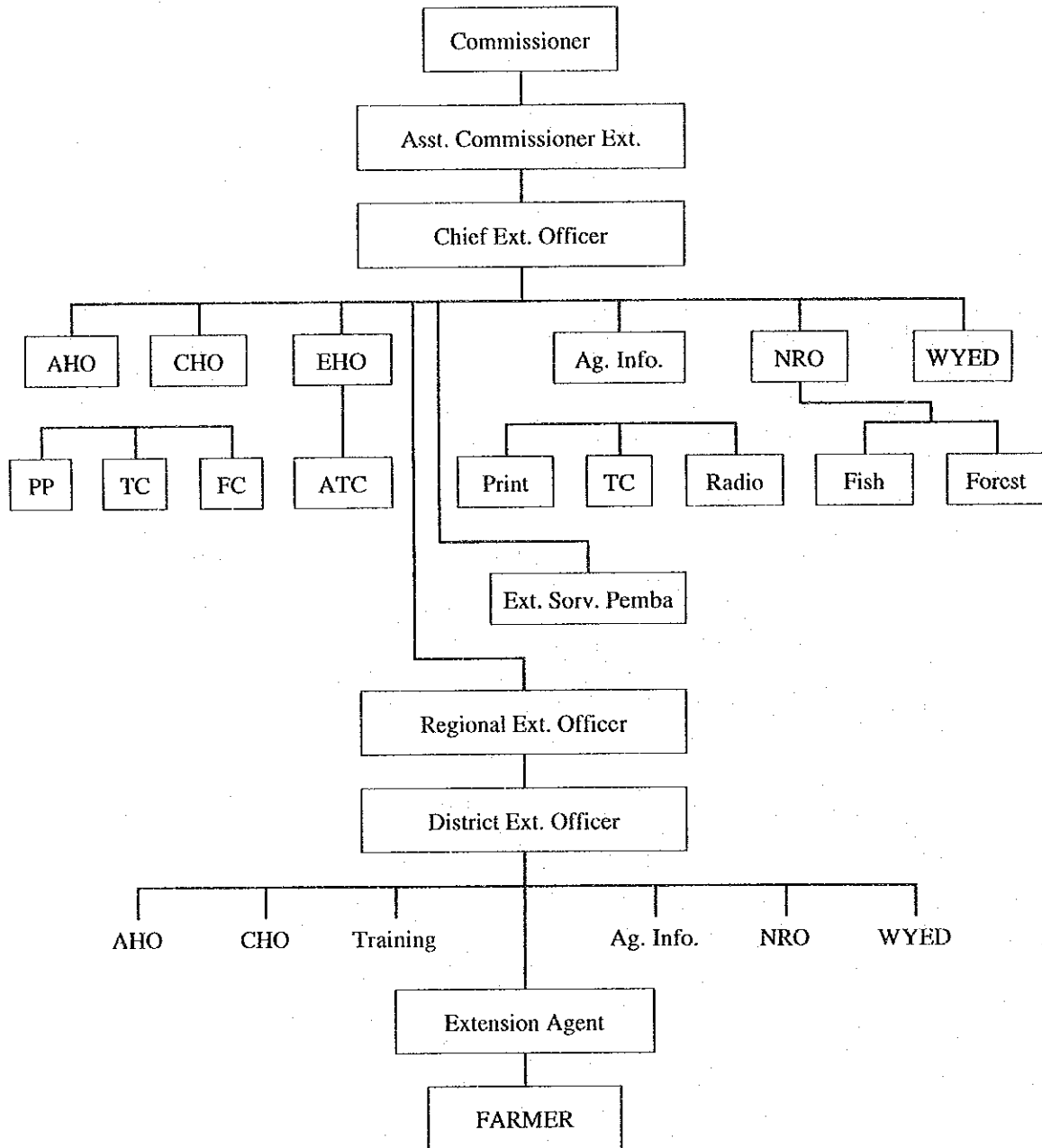


図2. タンザニア/ザンジバル普及関係組織図 (中央段階から村落段階まで)

タンザニア



ザンジバル



AHO - Animal Husbandry Officer

CHO - Crop Husbandry Officer

EHO - Extension Training Officer

Ag Info - Agricultural Information

NRO - Natural Resources Officer

PP - Plant Protection

TC - Tree Crops

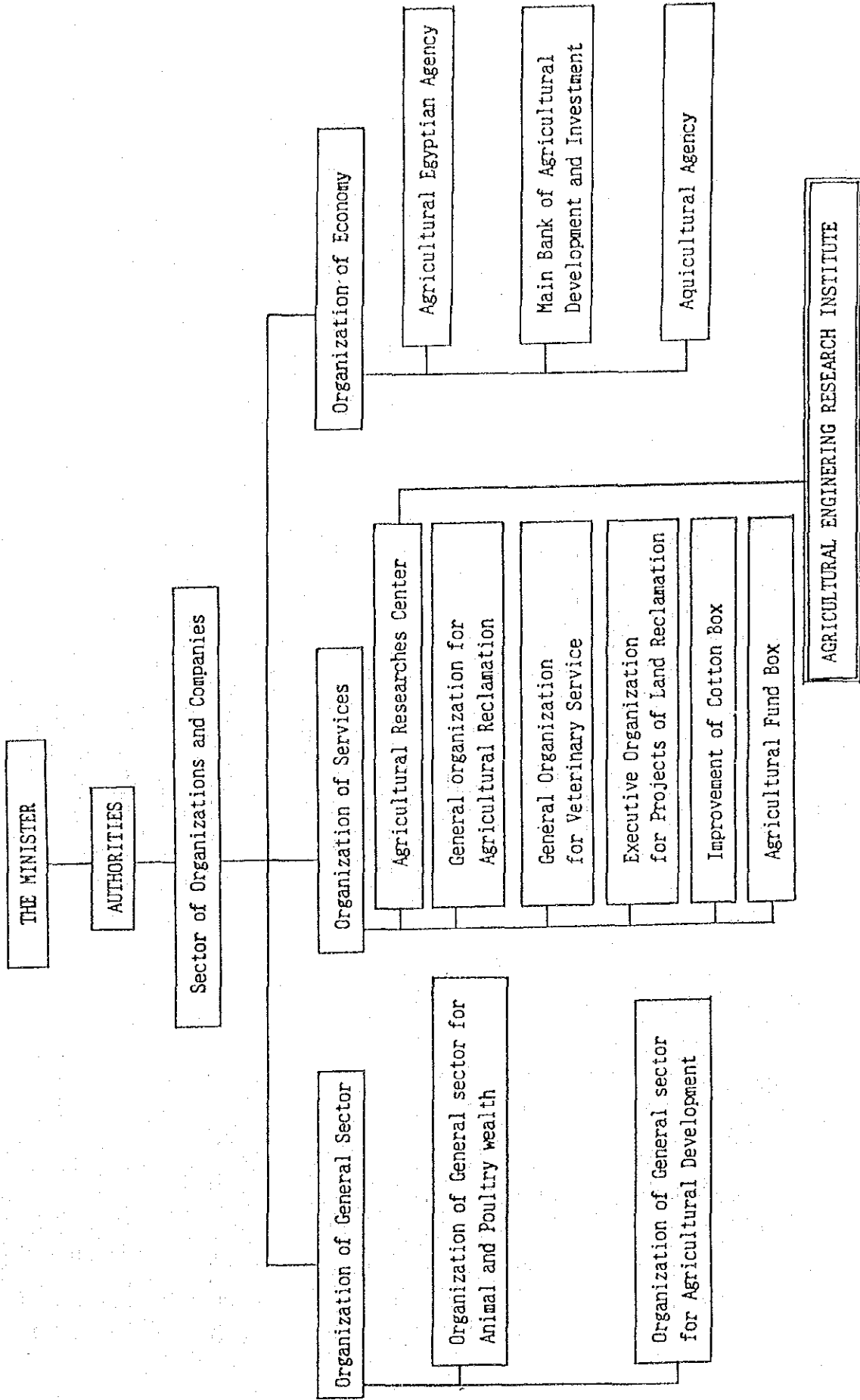
FC - Food Crops

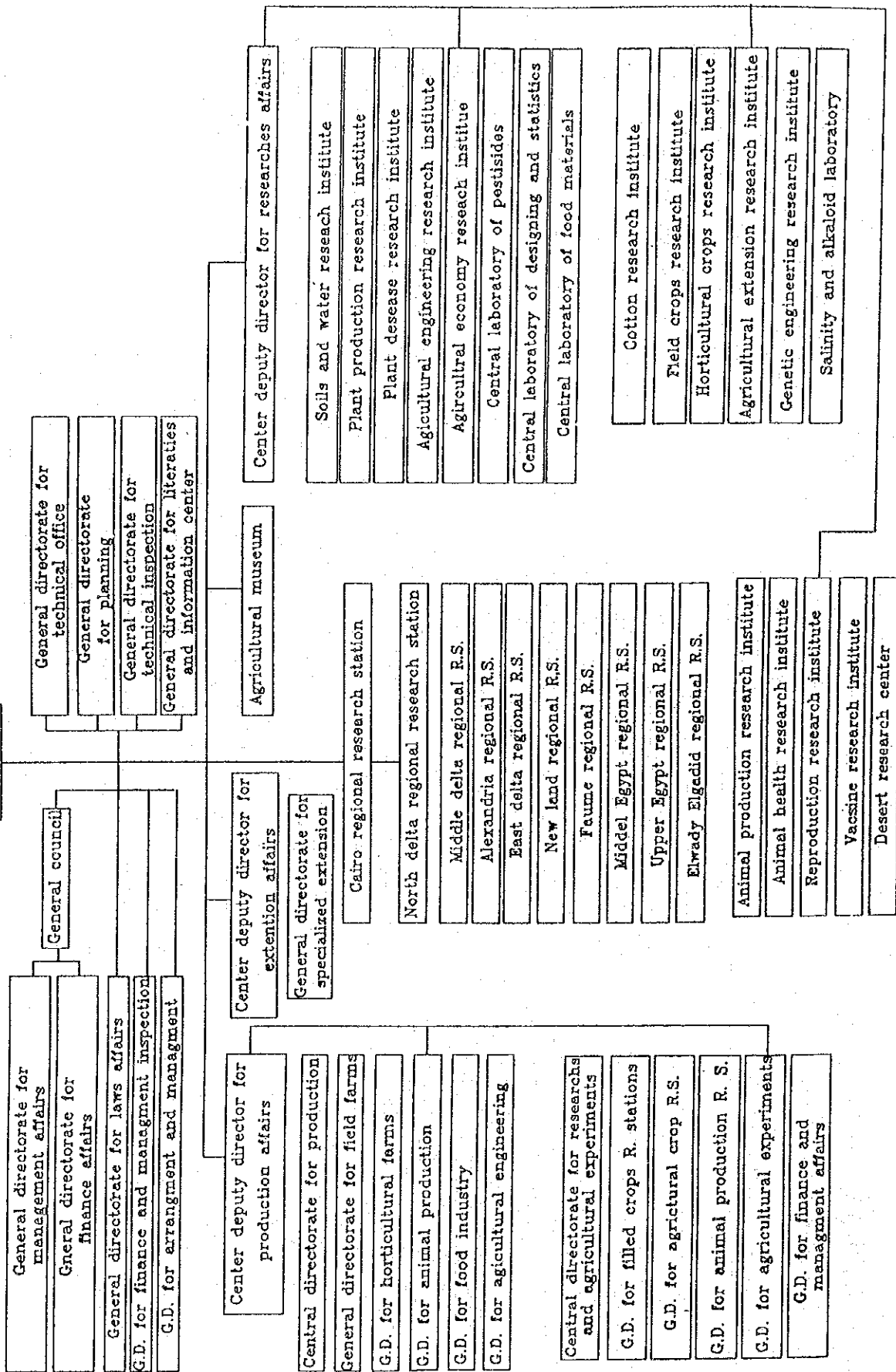
ATC - Agricultural Training Center

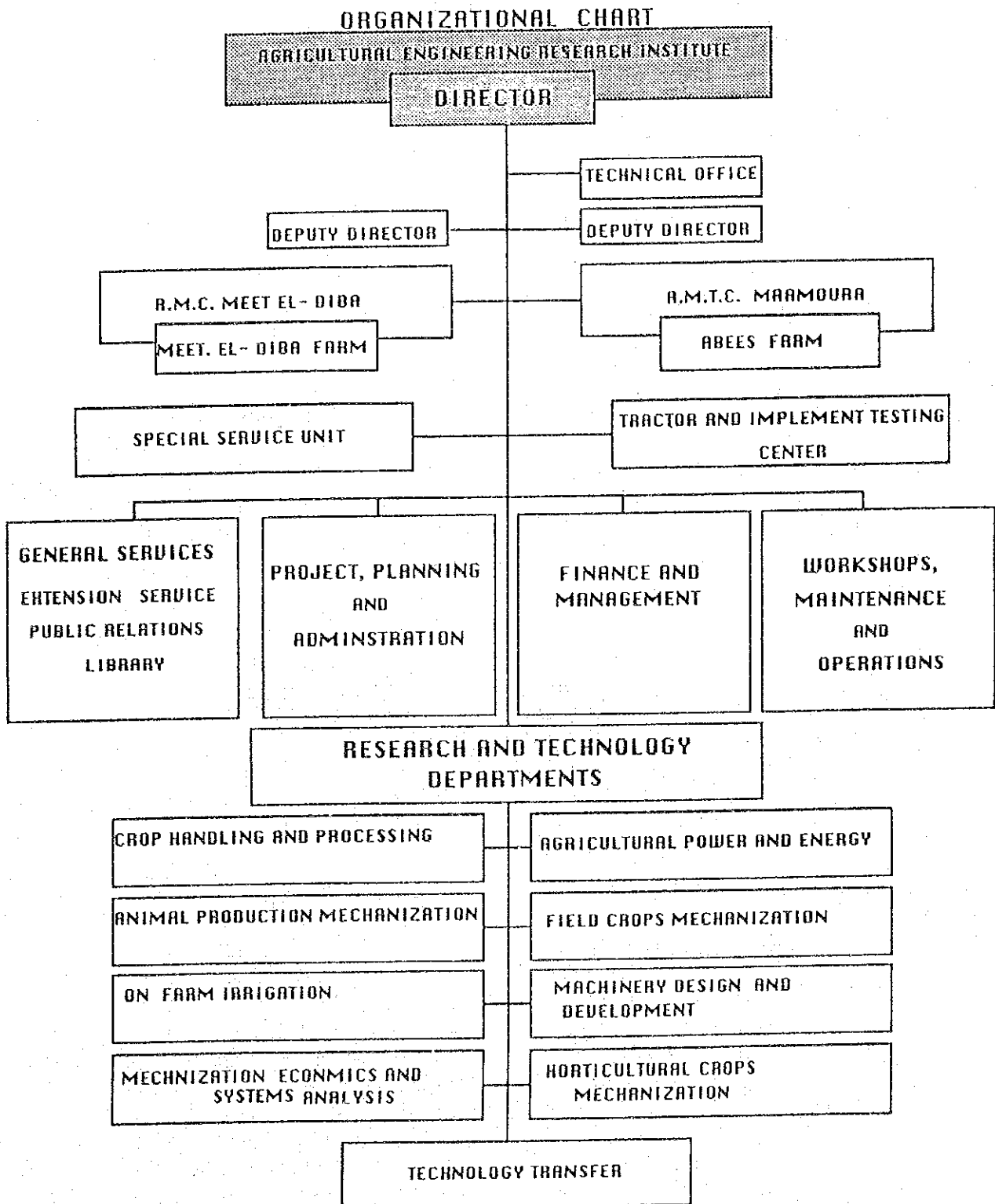
WYED - Women and Youth Extension Officer

図3. エジプト組織機構図

エジプト農業省機構図 (1994.8.1)







エジプトの米事情

1. 米の生産及び消費量

エジプトの米生産は近年増産傾向が著しく、この5年間で1.63倍になった。

米の生産状況は下表の通りである。

項目	生産量 (千トン)	消費量 (千トン)	自給率 (%)	一人当たりの年間消費量 (Kg)		
				エジプト	日本	アメリカ
米 (参考)	3,910	2,018	193.8	35	104*	69*
小麦	4,619	10,466	44.1	180		

注：*は穀物（米、麦類、メイズ等）の平均消費量を示す。

2. 米の輸出

米の完全自給を達成しているエジプトは、1992/93年には約20万トンに諸外国に輸出している。輸出先は、サウディ・アラビア、レバノン、シリア、スーダン、イスラエル等の中東諸国のほかオランダ、オーストリア、ルーマニア、イタリア等のヨーロッパ諸国にも輸出している。日本に対しても、第二時世界戦後から昭和30年台の後半まで少量ではあったが輸出していた。

3. 稲作地帯

ナイルデルタの北半分の6県で稲作総面積の9割以上を占め、ファユーム、上デルタの一部で井戸水で補助灌漑する稲作地帯が約1万haある。主要稲作地帯となっている下デルタでは、塩類集積土壌あるいは干拓地帯に栽培され、除塩作物としての役割を果たしている。これらの地帯は、IV級土壌（作物の栽培できる最低収地帯）で、一般畑作物は概して低収であり、毎年稲が作付されている場合が多い。中部デルタになるにしたがって、綿花、トウモロコシ等との輪作体系が明確となる。

4. 品種

品種育成試験は、1917年に開始させ、1940年まではほとんど日本から導入した品種から選抜された品種による作付が行われていた。特に、1954年に日本の品種から選ばれたNahbaは特筆すべき品種で4年目には全作付面積の95%に普及し、20年以上首位の座を占め、収量は一挙に33%近く増加した（この品種の日本名は不明）。その後、この品種を親として育成されたGiza171及びGiza172は現在主要品種となって、それぞれ40%、34%の作付面積をカバーしている。この間、外国種と交配し輸出用として長粒品種が数種育成されたがほとんど普及しなかった。1984年日本の品種レイホウが奨励品種になったが、その年にイモチ病が多発し、奨励品種から除外された。1984年以降は、イモチ病抵抗性強化が主目標になり、Indica品種IR28、Giza181等が作付されるようになり、現在外来型の品種が20%程度普及しており、早収多収ではあるが長粒で粘りが少ないので農民からは嫌われ、主として供出用となっている。イモチ病に強い品種を育成しても数年でこれを侵すイモチ菌が出てきて病品種になってしまうのが大きな問題となっている。

5. 稲作にかかる日本の経済協力

(1) 無償資金協力

(i) 米作機械化センター設立計画

1982年，無償資金協力（一般無償）

田植機利用による機械化稲作技術体系をナイルデルタの稲作に導入し，増収と省力化を図ることを目的とする。

カフエル・シェイク県，エジプト側関係機関：農業省

(ii) 農業機械貸出センター設立計画

1984，1985年，無償資金協力（一般無償）

1984年，食糧増産援助（2KR）

農業の生産性向上を図るため，農業機械を農家に貸し出すことを目的とする農業機械貸出センター（農業機械用の格納庫及び維持管理のためのワークショップ等で構成）を建設すると共に，農業機械を供与した。

ダカリア県シンヴィラウイン，エジプト側関係機関：農業省

(iii) 米貯蔵センター改善計画

1986年，87年，88年，食糧増産援助（2KR）

1991年，92年，無償資金協力（一般無償）

生産された米の保管状況を改善し，量的な損失及び品質の劣化を防止するため，米貯蔵用のサイロを供与した。

ナイルデルタの8カ所（6県），エジプト側関係機関：精米流通公社（当時）

(iv) ナイルデルタ米増産計画

1990年，食糧増産援助（2KR）

ナイルデルタの稲作の生産性の向上を図るため稲作用コンバイン，農薬等を供給した。

(2) 技術協力

(i) 専門家派遣

米作機械化センター，米貯蔵センター等に対し，農業機械，稲育種，稲作技術，精米処理技術等の分野で長期及び短期の専門家を派遣した。

(ii) 第三国研修（アフリカ諸国の研修生を対象に日本から講師を招聘しエジプトで実施）

稲作技術（1987年4月－1997年3月），実施機関：農業省

精米処理技術（1994年－），実施機関：農業省

出典：在エジプト日本大使館資料／1994年3月29日

第4章 関連資料

1. 主要面会者

[エジプト]

Holding Company for Rice & Flour Mills

- 1 Eng. Ibrahim Kilada Gerges
Chief of Projects sector
- 2 Agr. Eng. Megdy Monib
Manager of Technical Office
- 3 Agr. Eng. Hassan Sayed Hassan
Ex participant in 1983
General Manager for Rice Export,
- 4 Agr. Eng. Kamal Mahmoud El Sharkavy

R T T C (Rice Technology Training Center)

- 1 Eng. Mohamed Helmy Diah
Chief of Technical foreign Affairs
- 2 Eng. Osman Sharawy
Chif Operation
- 3 Eng. Mohamed El Said
Rice Mill Manager
- 4 Eng. Mostafa Ahmed Shehato
Rice Production Manager
- 5 Eng. Fayez Mohamed Abdella
Lab. Speclost
- 6 Eng. Tarek Ezzat Abouzaid
Training Specialist
- 7 Eng. Hany Mofid Aboul Khier
Manager of training
- 8 Eng. Medhat El Dalil
Lab. Speclant
- 9 Eng. Mahmoud Fakhry Fares
General Manager

R M C (Rice Mech Center)

- 1 Mohamed El-Kholy
Head-Machinery Research and Development
Post-Harvest of Cereál Crops
- 2 Eng. Mohemed Hesham M. Okasha
- 3 Dr. Sherif M. Radwan
Sp. Rice Processing
add. Mansomva Tomvil
8, Ali Mobavek st. EGYPT 050-324635

- 4 Amer Abbas
Agriculture Extension For Leader
- 5 Eng. Ahmed Mohamed kassem
Assistant Researcher in Agriculture engineering
Research Institute
- 6 Eng. Mohamed Yousef Abd El Malla
Agr. Engineer, Head of Training Div.

E I C A (Egyptian International Center for Agriculture)

- 1 Eng. Moustafa Khalifa
Director of Asian Countries Cooperation
Ministry of Agriculture
- 2 Dr. Ahmed Mamdouh El-Baz
M.G..of Rural Development Development
Ministry of Agriculture
- 3 Eng. Mohamed Ismail Ahmed
Director of Mechanization
Dep. Agrarian Reform Organization
Ministry of Agriculture
- 4 Eng. Osama Kamel
Director of Rice Mechanization
Center-kfr-El Sheikh Gov.
Agric. Engineering Res. Institute
- 5 Laila Ahmed El-Kiei
First Specialist
Central Administration for Agricultural
Extension Services
- 6 Mrs. Nadia Abd El-Fatteh
Responsible for Grants & scholarship trasining
- 7 Mr. Helal Abbassy
Responsible for Grants & trasining
- 8 Eng. Amar Abbas Ahmed R.M.C.
Agricultural Extension for Leader
- 9 Eng. Hassan Saleh
Ex participant Agricultural Extension for Leader
- 10 Eng. Ahmed Abd El-Kader El Hessen
Ex participant (Post harvest)
Agriculture Research Center
- 11 Dr. Atef Abdel-Halim
Director of Egyptian Inter. Center for Agriculture

Ministry of Agriculture

- 1 A.S. Kabatange
Manpower Planning Officer, Training Section
- 2 Mrs. Margaret Kayombo
Training Officer, Training Section
P.O. Box 2066 Dar-Es-Salaam Tanzania

Prisons Department

- 1 Jumne H. Mangara
Principal Commissioner
- 2 Nicas P. Banzi
Commissioner of Prisons
- 3 John C. Minja
Assistant Commissioner of Prisons
- 4 Ramadhan S. Mvulle
Assistant Commissioner of Prisons
- 5 Nuganyizi Kamugisha
Assistant Commissioner of Prisons

National Agricultural and Food Corporation (NAFCO)

- 1 Mr. J.A. Kamulika
Acting Manpower Dev. & Administration Manager
P.O. Box 903 Dar-Es-Salaam Tanzania
- 2 Mr. Samuel H. Sheiui
NAFCO mb 021 Box 46 mbo21 MBEYA
- 3 Mr. Patrick Herman Chibanhila
Farm Manager , Mbarali Rice Farms Limited
P.O.Box 78 Rujewa Mbeya Tanzania
- 4 Mr. A.J. Nyangarika
Senior Planning Office and Acting Agronomist
NAFCO P.O. Box 903 Dar-Es-Salaam Tanzania

Ministry of Agriculture in Zanzibaru

- 1 Khamis A. Simba
Ag. Training Officer
- 2 Ahmad Kassim Haji
Extension Agriculture
- 3 Hamad Mussa Hamab
Post Harvest Rice Processing Engineer

- 4 Issa Ibrahim Mahmoud
Extension Training Officer,
Sub-Commission for Extension
 - 5 Makame Ali Ussi
Head of Agric. Services
 - 6 Shaaban Salum Jabir
Chief Extension Officer
Extension Subcommission P.O. Box 159 Zanzibaru
 - 7 Naibu Katibo Mkoo
-
- 1 Shabani Ramadhani Chayoa
Agromechanization Officer
 - Festus Joachim Kimaryo
Agromechanization Officer

2. 帰国研修員リスト

[エジプト]

EGYPT (0001)

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	POST	PRESENT OCCUPATION		RESIDENCE		REMARKS
				NAME OF ORGANIZATION	ADDRESS	ADDRESS	TEL	
MR. AHMED MOHAMED ISMAIL (8907269)	AGRICULTURAL EXTENSION FOR LEADER (10)	1990 5/14 1990 8/24	DIRECTOR OF MECHANIZATION DEPARTMENT	AGRARIAN REFORM ORGANIZATION	DOKKI CAIRO	MANSHET EL-FAOEL ST NO8 BAB EL LOUK CAIRO EGYPT	3561748	
MR. AMER ABBAS AHMED (8906642)	AGRICULTURAL EXTENSION FOR LEADER (10)	1990 5/14 1990 8/24	AGRICULTURAL MACHINERY INCHARGE EXT	RICE MECHANIZATION CENTER	RICE MECHANIZATION CENTER	BASHEAL EL BALAD ENBABA GIZA	705853	
MR. SALEH HASSAN MOHAMED (8907268)	AGRICULTURAL EXTENSION FOR LEADER (10)	1990 5/14 1990 8/24	EXTENSION SPECIALIST	CENTRAL ADMINISTRATION OF AGRICULTURE EXTENSION	MOP DOKKI CAIRO EGYPT	12688R SHAMS EL DIN AIN SHAMS WEST CAIRO EGYPT		
MR. AHMED MAHMOUD YOUSSEIN EL-BAZ (9200064)	AGRICULTURAL EXTENSION FOR LEADER II (10)	1992 4/17 1992 7/19	DIRECTOR	CENTRAL ADMINISTRATION FOR AGRICULTURE EXTENSION SERVICE	NADI EL-SIED SR. LAND IMPROVEMENT BUILDING DOKKI C	10 NABI FARID SR. MOHANDSEEN-DOKKI CAIRO EGYPT	704720 3495078	
MR. AHMED ABDE-EL AZIZ (7701293)	(C) RICE PROCESSING (10)	1977 8/31 1977 12/ 3	TECHNICAL DIRECTOR	ROSETTA RICE MILLS CO.	MAHMOUDIA ST. NO24A-ALEX P.O. BOX 854 ALEX	96-NILE ST FOHA EGYPT		
MR. MAHER MOHAMED MOHAMED AWAD (7701294)	(C) RICE PROCESSING (10)	1977 8/31 1977 12/ 3	MANAGER	ALEXANDRIA RICE MILLS CO.	MOHARREH BEY EL-MAHMOUDIA CANAL ST. ALEXANDRIA	66ZEL-HORRIA STR ALEXANDRIA EGYPT		
MR. TALAAT MOHAMED YOUNIS (7801103)	(C) RICE PROCESSING (10)	1978 8/30 1978 12/ 3						
MR. AHMED ABDEL KADER EL HUSSEINI (8001452)	(C) RICE PROCESSING (10)	1980 8/28 1980 12/ 1	RESEARCH ASSISTANT	AGRICULTURAL RESEARCH CENTER	ORHAN ST. GIZA EGYPT	NO.74 5BN MONKED ST. VICTORIA ALEXANDRIA EGYPT		
MR. RASHED AREF MOSTAFA HATEM (8101977)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1981 8/25 1981 12/ 1		RICE TECHNOLOGY TRAINING CENTER	POST BAG HAGAR EL MAWATIA ALEXANDRIA	EGYPT-ALEXANDRIA ATALT ST. FLI 5 SAN STEFANO ALEXANDRIA		
MR. MAHMOUD MAHMOUD EL SIGINY (8201702)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1982 8/24 1982 11/29	HEAD OF LABORATORY SECTION	RICE TRAINING TECHNOLOGY CENTRE	HAGAR EL MAWATIA ALEXANDRIA EGYPT	47 TASHA ST ASPORTING APT 8 AL EXANDRIA EGYPT		

() : 研修員番号 (10) : 集団 (20) : 個別一般、特設 (22) : C. S (24) : C/P (26) : 国際機関
 () : 特別案件、民間授産者 C/P () : 特別研究員 () : 特別研究員
 日付は住所変更があった場合の更新日

(00022)

EGYPT

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION			RESIDENCE			REMARKS
			POST	NAME OF ORGANIZATION	ADDRESS	TEL	ADDRESS	TEL	
MR. MOHAMED IBRAHIM EL SAID (8301778)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1983 8/25 1983 11/28	CHIEF	RICE TECHNOLOGY TRAINING CENTRE E OF RICE MARKET	RICE TECHNOLOGY TRAINING CENTRE ALEX		3 GHARGA ST. ZYNICA ALEXANDRIA EGYPT		
MR. HASSAN SAYED HASSAN IBRAHIM (8301780)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1983 8/25 1983 11/28	HEAD DEPARTMENT OF MILLING	MINISTRY OF SUPPLY	CAIRO 29 EL KASSER ELINWISIT		CAIRO 4 MOHMOUD ST KUSHTOUNOUR SO		
MR. FATEH MOHAMED ABDULLAH (8402148)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1984 8/23 1984 11/28	LABORATORY SPECIALIST	RICE TRAINING TECHNOLOGY CENTER	HAGAR ELNAMATIA ALEXANDRIA EGYPT		608 ST SEADEY BEN-SHER ALEXANDRIA EGYPT		
MR. MAHMOUD FAKHRY AHMED FARES (8502481)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1985 8/22 1985 11/23	RICE MILL MANAGER	GENERAL ORGANIZATION FOR RICE MILLING & MARKETING	R. T. C. P. B. HAGAR EL NAMATIA ALEX EGYPT		STALHAT ST. SAN STEPHANO ALEX EGYPT		
MR. MOSTAFA AHMED MOHAMED SHEHATA (8601074)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1986 8/24 1986 11/24	CHIEF PRODUCTION	GENERAL ORGANIZATION FOR RICE MILLING & MARKETING	P. O. HAGAR ELNAMATIA ALEXANDRIA EGYPT		RICE TECHNOLOGY TRAINING CENTRE P. O. HAGAR EL NAMATIA ALEX EGYPT		
MR. ABDEL RAHMAN EL SAYED MO. IBRAHIM (8700865)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1987 8/30 1987 11/30	MANAGER	DAKRINS MECHANICAL SEED STATION	EGYPT MAMPARA DAKRINS		EGYPT DAKRINS EL MAMPARA 3 ELBANK EL AHLEY ST.		
MR. HANY ABDEL KHEIR (8802247)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1988 8/31 1988 11/28	HEAD OF RICE POST OFFICE	RICE TECHNOLOGY TRAINING CENTRE R. A. H. U. MARKET NO ORGANIZATION	RICE-HAGAR EL NAMATIA POST OFFICE SEMOUSA		301 HORIA STREET ALEXANDRIA EGYPT		
MR. MEDHAT ABD EL MONHEM EL DALIL (8903282)	POST HARVEST RICE PROCESSING (10)	1990 8/27 1990 11/27	LABORATORY SPECIALIST	RICE MILLING AND MARKETING ORGANIZATION	POST BAG HAGRELNAMATIA ALEXANDRIA EGYPT	4200499	231 HORRIA STREET ALEXANDRIA EGYPT		
MR. MOHAMED HESHAM M. OKASHA (9101519)	POST HARVEST RICE PROCESSING (10)	1991 8/27 1991 11/26	TECHNICAL ENGINEER	AGRICULTURE MECHANIZATION CENTER	GIZA-DOKKI NADI-EL SAID-EGYPT	047324592	AHMED ABB. AZIZ. ST. KAFER EL-SHEKH, BOU. EGYPT	047-323349	
MR. MOHAMED HELMY OLAB (9202983)	POST HARVEST RICE PROCESSING (10)	1992 8/25 1992 11/24	CHIEF OF RICE EXPORT AFFAIRS	RICE TECHNOLOGY TRAINING CENTER	HAGAR ELNAMATIA ALEXANDRIA EGYPT		99 AL-KHARA STREET SEDY BISHER ALEXANDRIA EGYPT	4500389	
Mr. Tarek Ezzat Ahmed Abouzaid タレク	//	1993 3/26 1993 11/25	Laboratory Specialist, Rice Technology Training Center	Laboratory Specialist, Rice Technology Training Center	3 EL-KHARA EL FAKI, Str. Manshiyet Al-Masara EGYPT				
Ms. Laila Ahmed El Kiel ライラ	AGRICULTURAL-EXTENSION SERVICE FOR LEADER II	1994 5/10 1994 7/31	First Specialist, Central Administration of Agricultural Extension	農業技術センター 専門技師 First Specialist, Central Administration of Agricultural Extension	29 Tomambay Str. Manshiyet El-Baky Cairo Egypt				

(0001)

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION			RESIDENCE		REMARKS
			POST	NAME OF ORGANIZATION	ADDRESS	TEL	ADDRESS	
MR. EMANUEL SANZ JAGGA-DI (760007Z)	(C) AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE (10)	1976 4/14 1976 7/10	AGRICULTURAL OFFICER	MINISTRY OF AGRICULTURE	P.O. BOX 9192 DAR-ES-SALAAM			
MR. AHMAD KASSIM HAJI (8200556)	(C) AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE (10)	1982 5/7 1982 7/31	FIELD OFFICER	MINISTRY OF AGRICULTURE	P.O. BOX 159 ZANZIBAR TANZANIA		P.O. BOX 497 ZANZIBAR TANZANIA	
MR. DEUSDEDIT MUTAHABA RUGANGILA (8205792)	(C) AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE (10)	1983 4/13 1983 7/11	DISTRICT AGRICULTURE DEVELOPMENT	MINISTRY OF AGRICULTURE	P.O. BOX 9071 DAR ES SALAAM		P.O. BOX 344 MUSOMA TANZANIA	
MR. PETER BOMBO BARIE (8303780)	(C) AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE (10)	1984 4/11 1984 7/16	REGIONAL AGRICULTURAL OFFICER	MINISTRY OF AGRICULTURE	P.O. BOX 2066 DAR ES SALAAM		P.O. BOX 2066 DAR ES SALAAM	
MR. MUHAMMED MASSOR MARSHED (8403356)	(C) AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE (10)	1985 4/3 1985 7/28	REGIONAL AGRICULTURAL OFFICER	DEPARTMENT OF AGRICULTURE, ZANZIBAR	DEPARTMENT OF AGRICULTURE P.O. BOX 159 ZANZIBAR		OFF-MINISTRY OF AGRICULTURE P.O. BOX 159 ZANZIBAR KES-P.O. BOX 1043, ZANZIBAR	
MR. NICODEMUS PESSA SICILLINA (8503791)	(C) AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE (10)	1986 4/2 1986 7/28	ASSISTANT REGIONAL AGRICULTURAL DEVELOPMENT OFFICER	AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE	P.O. BOX 9192 DAR ES SALAAM TANZANIA		P.O. BOX 88 MORONGORO TANZANIA	
MR. MICHAEL E.L. MIZIRAY (8701276)	(C) AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE (10)	1987 8/5 1987 11/15	SENIOR AGRICULTURAL TRAINING OFFICER	MINISTRY OF AGRICULTURE & LIVESTOCK DEVELOPMENT	P.O. BOX 9192 DAR ES SALAAM TANZANIA	051 27231	BOX 2066 DAR ES SALAAM TANZANIA 051 27232	
MR. ASIA FILFIL THANI (8701936)	(C) AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE (10)	1987 8/5 1987 11/15	DISTRICT EXTENSION OFFICER	MINISTRY OF AGRICULTURE AND LIVESTOCK PRODUCTION	P.O. BOX 159 ZANZIBAR TANZANIA	30206	P.O. BOX 159 ZANZIBAR TANZANIA 30206	
MR. ANTON SUMPONGO KOMBA (7701300)	(C) RICE PROCESSING (10)	1977 9/2 1977 12/3	RESEARCH TECHNICIAN	MINISTRY OF AGRICULTURE	P.O. BOX 9192 DSH TANZANIA		P.O. PRIVATE BAG IFAKARA	
MR. U. SEWESI (7801426)	(C) RICE PROCESSING (10)	1978 9/20 1978 12/3		NATIONAL MILLING CORPORATION			MOROGORO REGIONAL TANZANIA	

REMARKS 中の (2): 準高級研修員 (3): 高級研修員
日付は任所変更があった場合の更新日

3 (26): 国籍欄

(20): 選別一般、特設 (22): C、S (24): C/P

(10): 奨励員番号 (15): 特別案件、民間委託者 C/P

(0002)

TANZANIA

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION			RESIDENCE		REMARKS
			POST	NAME OF ORGANIZATION	ADDRESS	TEL	ADDRESS	
MR. ABDULLA OMARI BAKARI (8201694)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1982 8/25 1982 11/29	DIRECTOR	MINISTRY OF AGRICULTURE	PO BOX 159 ZANZIBAR TANZANIA		KISIMIA HODINI ZANZIBAR TANZANIA	
MR. ISSA ALI ISSA (8302238)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1983 9/ 6 1983 11/28	REGIONAL AGRICULTURE OFFICER	MINISTRY OF AGRICULTURE	P.O. BOX 159 ZANZIBAR TANZANIA		MINISTRY OF AGRICULTURE P.O. BOX 159 ZANZIBAR TANZANIA	
MR. MAKAME ALI USSI (8401890)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1984 8/22 1984 11/26	HEAD OF FOOD CROP DEV.	GOVERNMENT ORGANISATION	MINISTRY OF AGRICULTURE P.O. BOX 159 ZANZIBAR TANZANIA		P.O. BOX 159 ZANZIBAR TANZANIA	
MR. PATRICK HERMAN CHIBANHILA (8502277)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1985 8/21 1985 11/25	FARM MANAGER	NATIONAL AGRICULTURAL FOODS CO OPERATION	NAFCO HQ. P.O. BOX 903. DAR ES SALAAM TANZANIA		MBARALI RICE FARMS LTD. P.O. BOX 86, CHEMALA, MBEYA, TANZANIA	
MR. EPIMAKI BEDA PAULINA TARIMO (8601667)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1986 8/27 1986 11/24	PRODUCTION OFFICER	NATIONAL AGRICULTURAL AND FOOD CORPORATION	NAFCO MADIBIRA RICE PROJECT. P.O. BOX 78 MAFINGA TANZANIA		NAFCO P.O. BOX 903 DAR ES SALAAM TANZANIA	
MR. SAMUEL HASSANI SHETUI (8702346)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1987 9/ 2 1987 11/30	OPERATIONS OFFICER	NATIONAL AGRICULTURAL AND FOOD CORPORATION	NAFCO HEAD OFFICE P.O. BOX 903 DAR ES SALAAM TANZANIA	25961	P.O. BOX 903 DAR ES SALAAM TANZANIA	27291-25
MR. RAMADHAN SALIH MVOLE (8801644)	(C) POST-HARVEST RICE PROCESSING (10)	1988 8/31 1988 11/28	FARM MANAGER	CORRECTIONAL INSTITUTION (PRISON)	PHQ P.O. BOX 9190 DARES SALAAM TANZANIA	21577	PRISON HEAD QUARTERS P.O. BOX 9190 DARES SALAAM TANZANIA	21577
MR. JOHN EDUARDO NICHOLOUS MAPUNDA (8902495)	POST HARVEST RICE PROCESSING (10)	1989 8/30 1989 11/27	AGRICULTURAL FIELD OFFICER	MINISTRY OF AGRICULTURE LIVESTOCK DEVELOPMENT	MINISTRY OF AGRICULTURE LIVESTOCK P.O. BOX 9192 DAR ES SALAAM TANZANIA	05127231	MR. JOHN EDUARDO NICHOLOUS MAPUNDA P.O. BOX 747 MOROGORO TANZANIA EAST AFRICA	0562971
MR. EDWARD P. K. MITI (9002069)	POST HARVEST RICE PROCESSING (10)	1990 8/26 1990 11/27		DAKAWA RICE FARM	P.O. BOX 972. MOROGORO, TANZANIA		NATIONAL AGRICULTURAL AND FOOD CORPORATION PO BOX 903 DAR-ES-SALAAM TANZANIA	1992 05/01
MR. FRANCIS M. MPANGALALA (9002070)	POST HARVEST RICE PROCESSING (10)	1990 8/26 1990 11/27	FIELD OFFICER GRADE ONE	NATIONAL AGRICULTURAL AND FOOD ORGANIZATION	NAFCO PO BOX 903 DAR ES SALAAM TANZANIA	25961	NATIONAL AGRICULTURAL AND FOOD ORGANIZATION NAFCO PO BOX 903 DAR ES SALAAM TANZANIA	

() : 研修員番号 (10) : 韓国 (20) : 個別一級、特設 (22) : C、S (23) : 高級研修員
(15) : 特別案件、民間技能者 C/P (24) : C/P (25) : 国際機関
日付は住所変更があった場合の更新日

REMARKS 中の (2) : 準高級研修員
日付は住所変更があった場合の更新日

REMARKS 中の (2) : 準高級研修員
日付は住所変更があった場合の更新日

REMARKS 中の (2) : 準高級研修員
日付は住所変更があった場合の更新日

REMARKS 中の (2) : 準高級研修員
日付は住所変更があった場合の更新日

REMARKS 中の (2) : 準高級研修員
日付は住所変更があった場合の更新日

REMARKS 中の (2) : 準高級研修員
日付は住所変更があった場合の更新日

REMARKS 中の (2) : 準高級研修員
日付は住所変更があった場合の更新日

(0003)

TANZANIA

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	PRESENT OCCUPATION			RESIDENCE			REMARKS
			POST	NAME OF ORGANIZATION	ADDRESS	TEL	ADDRESS	TEL	
MR. HAYAD MUSSA HAYAD (9102062)	POST HARVEST RICE PROCESSING (10)	1991 8/27 1991 11/26	HULLING AND THRESHING ENGINEER	RAINED RICE DEVELOPMENT PROJECT	P.O. BOX 159, ZANZIBAR, TANZANIA	31831	P.O. BOX 597, ZANZIBAR TANZANIA		
MR. RAJAB ALLY BNEJR (9202490)	POST HARVEST RICE PROCESSING (10)	1992 8/24 1992 11/24	REGIONAL EXTENSION OFFICER	MINISTRY OF AGRICULTURE	P.O. BOX 159 ZANZIBAR TANZANIA		P.O. BOX 905 ZANZIBAR TANZANIA		
Mr. Flexon E. J. Lauwo ラクワ	"	1993 5/26 1993 11/27	Milling Manager, National Agricultural and Food Corporation				P.O. Box 63 Marangu, Tanzania		
Mr. Issa Ibrahim Mahmud	AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE II	1994 5/10 1994 7/31	Assistant Extension Training Officer, Sub-Commission for Agricultural Extension, Ministry of Agriculture, Livestock and Natural Resources, Zanzibar 農牧天然資源省管及研修官補		Commission for research and Extension P. O. Box 159 Zanzibar, Tanzania				

() : 研修員番号 (10) : 集団 (20) : 個別一般、特設 (22) : C, S (24) : C/P (26) : 国際機関
 (15) : 特別条件、民間技能者C/P
 REMARKS中の (2) : 準高級研修員 (3) : 高級研修員
 日付は住所変更があった場合の更新日

3. 調査団概要

[Out-Line]

THE FOLLOW-UP MISSION
FOR
THE GROUP TRAINING COURSES
IN THE FIELD OF
AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE AND POST HARVEST RICE PROCESSING
(EGYPT)

1 .OBJECTIVE

The aims of dispatching this follow-up mission are as follows:

- (1) To evaluate the courses by conducting the research on how much the result of the training is applied and how it affects to the field concerned in respective countries,
- (2) To research the overall sector of this training field in the countries the mission will visit, thus to seize the problems and needs in respective countries.
- (3) To improve the JICA's future training program in the field of Agricultural Extension Service and Post-Harvest Rice Processing.

2 COURSES ASSIGNED FOR SURVEY

- * Agricultural Extension Service for Leader
- * Agricultural Extension Service
- * Post-Harvest Rice Processing
- * Rice Processing

3 PERIOD

From November 27 to December 3 (Egypt)

4 Members

(1) Mr. Yasuhisa SEO ,D. Agr.

(Team Leader, Survey and Technical Advice particularly on the field of Post-Harvest rice Processing)

Professor, Department of Agricultural Engineering
Faculty of Agriculture, The University of Tokyo

(2) Mr. Sadao ISONO

(Survey and Technical Advice particularly on the field of Agricultural Extension Service)

Vice-Director General and Director of Foreign Affairs Division,
Japan Agricultural Development and Extension Association.

(3) Ms. Mika Yamamoto

(Planning and Coordination)

Training Officer, First Training Division,
Tokyo International Center, Japan International Cooperation Agency.

5 Schedule (Egypt)

11/28 (Mon.) • Ministry of Foreign Affairs
• Holding Company for Rice & Flour Mills

11/29 (Tue.) • RTTC (Rice Technology Training Center)

11/30 (Wed.) • Alexandria Mills Company
• RMC (Rice Mechanization Center)
& Rice Field in Kafr El-Shiekh

12/ 1 (Thu.) • Ministry of Agriculture
• friendship Party

4. クエスチヨネア(統一)

(相手国技術窓口用)

FOLLOW-UP TEAM
FOR
GROUP TRAINING COURSES
IN
AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE FOR LEADER II
AND
POST-HARVEST RICE PROCESSING

Questionnaire for the Technical Cooperation Department

It is much appreciated if you would complete this questionnaire and forward to the JICA Office in order to accomplish our mission.

Please use additional sheet of paper and attach it herewith, if necessary.

* Name of Your Organization and Department : _____

* Please explain briefly duties or services of your Department.

* Please attach an organization chart herewith.

JICA has been conducting the group training courses in the field of Agricultural Extension Service and Post-Harvest Rice Processing annually in accordance with the purpose and objective specified below.

① AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE FOR LEADERII

(1) Purpose

The purpose of the course is to provide participants with opportunities to understand agricultural extension services in Japan through lectures, practice and observation tours.

The Course is also designed to give the participants practical suggestions on the application of agricultural guidance and to impart them with competence for leadership in agricultural guidance, through explanations of background, history, theory and practical methods of extension work.

(2) Objective

By the end of the training period, the participants are expected to be able to:

- 1) understand the outline and the background of agricultural extension service in Japan, and the process by which the contemporary agricultural extension service has been formed;
- 2) understand the methods of extension service and related administrative measures in Japan in order to develop action plans applicable to their respective countries;
- 3) understand the methods of training for extension workers in Japan and thus utilize such training methods to their countries' situation.

② POST-HARVEST RICE PROCESSING

(1) Purpose

The purpose of the course is to contribute to the planning, guidance and of the technical improvements in this field in the government and the public organizations of each country and also to the improvements in effective processing technologies and prevention of qualitative losses by giving participants the knowledge and information on the post-harvest rice processing in Japan, namely harvesting, drying, husking, grading, inspection, storage, milling, utilization of by-products, etc.

(2) Objective

By the end of the training period, the participants are expected to be able to:

- 1) understand the rice production and marketing system in the world and Japan.
- 2) study the processing methods, machinery and facilities for harvesting, threshing, drying, husking and storage.
- 3) understand the functions of rice milling machinery and related equipment, and also the processing methods and facilities of rice mills.
- 4) study the methods of grading, inspection and the equipment used.
- 5) understand the utilization of by-products, namely rice husks, rice bran and broken.
- 6) study the measuring methods used in related fields.
- 7) understanding the design and management of rice handling and processing facilities.

QUESTIONS

I. About Human Resources Development Plan

1. At present, do you have the principle for human resources development.
 Yes / No

↓

If "Yes", please describe it briefly.
* Kindly attach the reference material about it.

2. Is there any project to promote human resources development in the field of Agricultural Extension Service or Post-Harvest Rice Processing.
 Yes / No

↓

If "Yes", please describe it briefly.
* Kindly attach the reference material about it.

3. Is there any education system related to human resources development programme of this field: (Agricultural Extension Service or Post-Harvest Rice Processing).

Yes / No

↓

If "Yes", please describe it briefly.

* Kindly attach the reference material about it.

II. About evaluation of training courses

1. Do you think the above-mentioned training courses was effective for the human resources development in the field of Agricultural Extension Service and Post-Harvest Rice Processing.

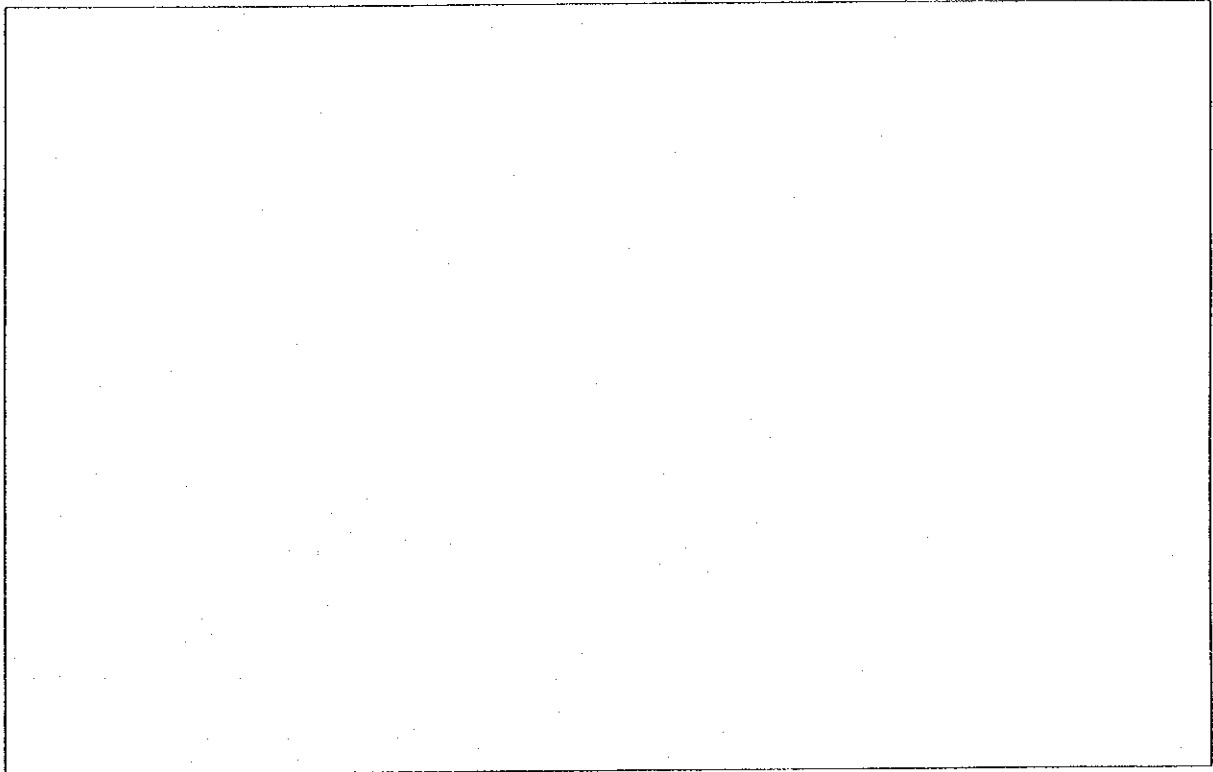
Yes / No

↓

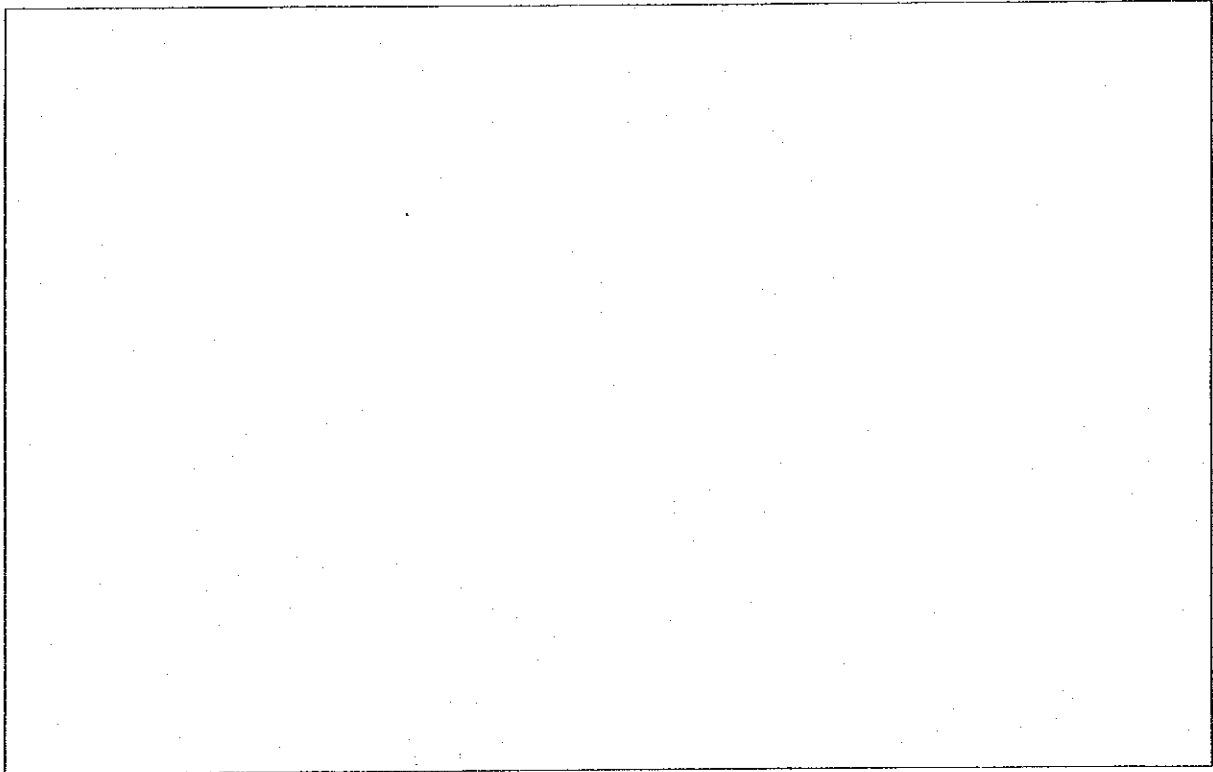
If "No", please describe the reason(s).

III. About selection of participants.

1. How do you select organizations for delivering G.I. (General Information) of group training course?



2. In your department, how do you select participants recommended by some relevant organizations?



Thank you very much for your cooperation.

(相手国関係機関用)

FOLLOW-UP TEAM
FOR
GROUP TRAINING COURSES
IN
AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE FOR LEADER II
AND
POST-HARVEST RICE PROCESSING

Questionnaire for the Relevant Authorities

It is much appreciated if you would complete this questionnaire and forward to the JICA Office in order to accomplish our mission.

Please use additional sheet of paper and attach it herewith, if necessary.

* Name of Your Organization (Department): _____

* Please explain briefly duties or services of your organization (Department).

* Please attach an organization chart herewith.

QUESTIONS

I. Importance of training for the field concerned

1. Which sub-sectors receive higher priority for development in your organization?

* Please describe the reasons.

2. Are there any projects in this sector?

(1) Now ; () Yes / () No

↓

If "Yes", please describe it briefly.

*Kindly attach the reference material about it.

(2) During the past 3 years ; () Yes / () No

↓

If "Yes", please describe it briefly.

*Kindly attach the reference material about it.

(3) In the next 5 years ; () Yes / () No

↓

If "Yes", please describe it briefly.

*Kindly attach the reference material about it.

II. Evaluation of training courses

1. Do the above-mentioned purpose and objective of the courses satisfy the requirements of this field in your country ?

() Yes / () No

↓

If "No", please describe the reason(s).

2. Is it necessary to change the above-mentioned purpose and objective in order to satisfy more adequately your country's requirement in the field of Agricultural Extension Service or Post-Harvest Rice Processing...

() Yes / () No

↓

If "Yes", please describe your suggestion(s) or alternative purpose or objective(s).

3. Does your organization evaluate your participant(s) after returning from Japan ?

() Yes / () No

↓

If "Yes", tell how your organization evaluates.

III. Selection of participants

1. How do you select your applicant for the JICA training course ?

Please explain in detail your procedures for application.

(ex. What kind of examinations or interviews do you do ?)

2. How many months/weeks/days do you usually need to select your applicant(s) ?

_____ month(s) _____ week(s) _____ day(s)

3. From which organization did you get the information of this training course (From whom / which organization did you get General Information of this training course ?) and how did you inform your subordinate(s) in your organization of this training course ?

IV. Applicability

1. Answer the following questions concerned with the usage of what your ex-participants brought (training outcomes).

1) What are the training outcomes in your organization generated by applying what your ex-participants brought (training outcomes) ?

2) Explain in detail the way how your organization utilize the knowledge and information which your ex-participant(s) brought.

2. Do you have any plan to enhance the effective use of the knowledge ex-participants acquired?

Yes / No

↓

If "Yes", Please describe it briefly.

V. Overseas training

1. Have your organization assigned your staff member in this field to participate in a similar training course/seminar in a foreign country other than Japan ?

Yes / No

↓

If "Yes", specify the following;

{
· Country ; _____
· Year ; 19 ____
· Name of Course/Seminar ; _____
· Duration ; ____ year(s) ____ month(s) ____ week(s)
· Organized by ; _____
· Sponsored by ; _____

{
· Country ; _____
· Year ; 19 ____
· Name of Course/Seminar ; _____
· Duration ; ____ year(s) ____ month(s) ____ week(s)
· Organized by ; _____
· Sponsored by ; _____

2. Compared with the training course or seminar held in a foreign country other than Japan, do you have any suggestion or comment for improving our training course?

VI. Other

1. If you have any request concerning the relevant training courses, please describe it below.

Thank you very much for your cooperation.

(帰国研修員用)

FOLLOW-UP TEAM
FOR
GROUP TRAINING COURSES
IN
AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE FOR LEADERS II
AND
POST-HARVEST RICE PROCESSING

Questionnaire for JICA Ex-Participants

It is much appreciated if you would complete this questionnaire and forward to the JICA office in order to accomplish our mission.

Please use additional sheet of paper and attach it herewith, if necessary.

1. Your Name (Fill in the below.)

Mr. / Ms. _____

2. The course name of your participation (Fill in the below)

Agricultural Extension Service

Agricultural Extension Service for Leaders II

Rice Processing

Post-Harvest Rice Processing

Others ; Name _____

3. Year of Your Participation : 19_____

4. Your Address & Phone Number (Fill in the below)

· Residence _____

Phone ; _____ Fax No. ; _____

· Office _____

Phone ; _____ Fax No. ; _____

5. Present Occupation (Fill in the below.) ;

· Position _____

· Division or Department _____

· Name of Your Organization _____

· Type of Your Organization () Governmental
() Local Governmental / Public
() Semi-Governmental
() Non-Governmental / Private

Q U E S T I O N S

I. Your Career and Duties (Answer the following three questions.)

1. Describe your career after returning home from Japan.

(Service Duration)

(Your Position and Organization Name)

(Month) (Year) (Month) (Year)

① _____ .19____ ~ _____ .19____ _____

② _____ .19____ ~ _____ .19____ _____

2. Please describe briefly the duties of your services in your country at present.

3. Please attach a chart of the organization to which you belong and indicate your section in annexed paper.

II. Applicability of this course (Answer the following questions.)

1. Have you applied what you had experienced or obtained through the course programme (Lectures, Observations and Field Trip) to your job and daily activities after returning from Japan ?

() Yes / () No

↓

If "No", please describe the reasons.

↓

If "Yes", answer the following questions.

- (1) What kind of subjects, knowledge or experience through the course programme have you applied to your job?
- (2) Explain in details the way how you have applied the above mentioned knowledge and experience to your job.
- (3) Have you applied the knowledge and technique to your job which you had obtained in Japan immediately after coming home ?

() Yes / () No

↓

If "No", Please explain why you have not applied.

2. Are there any topics which were not useful for you job ?

() Yes / () No



If "Yes", Please describe the reasons.

3. Answer the following questions concerning difficulties in applying the knowledge and experience you acquired (your training outcomes) in the course to your job.

(1) Are / Were your superiors at your office understanding and cooperative in application of your training outcomes ?



() Yes / () No

(2) Are / Were you supplied with sufficient equipments and materials to apply your training outcomes ?



() Yes / () No

(3) Are / Were you supplied with sufficient personnel to apply your training outcomes ?



() Yes / () No

(4) Point out any other difficulties, if any, in applying the knowledge and experience you acquired (your training outcomes) in the course to your job.

III. Evaluation of training courses.

1. Did the course programmes concerned satisfy your expectation or your own target?

(1) lecture : Yes / No

↓

If "No", Please describe the reasons.

(2) observation : Yes / No

↓

If "No", Please describe the reasons.

(3) practical training: Yes / No

↓

If "No", Please describe the reasons.

2. What knowledge and technique do you think we should emphasize more or newly introduce into its curriculum in the future and why ?

3. If you have any suggestion or comment to improve the course programme, please describe them below.

IV. Follow-up for JICA ex-participants

1. JICA has been delivering magazines for participants and supporting ex-participants alumni associations as an aftercare service.

Do you have any other request ?

V. Overseas training

1. Have you attended a similar training programme or seminar in a foreign country other than Japan ?

() Yes / () No

↓

If "Yes", specify the following :

{	· Year of Participation : 19_____
	· Duration of Course / Seminar ; _____ year(s) _____ month(s) _____ week(s)
	· Name / Title of Course / Seminar : _____ _____
	· Venue of Course / Seminar ; (Country Name) _____
	· Organized by ; _____ _____
	· Sponsored by ; _____ _____

2. Compared with the training course or seminar held in a foreign country other than Japan, do you have any suggestion or comment for improving this course ?

Thank you very much for your cooperation.

5. 相手国技術窓口／関係機関用クエスチョネア集計

(相手国技術窓口用) (タンザニア)

* 機関 (部門) 名 : PRESIDENT'S OFFICE
CIVIL SERVICE DEPARTMENT
TRAINING AND RECRUITMENT DIVISION

* 貴機関 (部門) の職務について簡単に述べて下さい。

・ 研修・雇用ぶ :

- 公務員のための人材開発
- 公務員の国内及び海外研修の適切な調整・管理
- 外国人の雇用
- NATIONAL MANAGEMENT DEVELOPMENT ADVISORY COUNCIL (NAMDAC) と
STANDING COMMITTEE ON AWARDS (SCOA) の活動の効果的調整
- 人材計画及び配置

質問

I. 人材開発計画について

1. 現在、人材開発計画について基本方針がありますか？

はい :

いいえ :

「はい」の場合簡単に理由を述べて下さい。

(参考資料があれば、添付して下さい。)

人材開発は幅広の問題で、人々の生産性を高めるための努力・活動を含み、教育研修という狭い範囲に止まらない。人資源の三大構成－利用・開発・支持メカニズムからなる。

下記の目標は人材開発のひとつと見られる仕事の達成に焦点を置いている。

- 各セクターが人材に求めるものに応じたプログラムの計画と開発を経済的に援助する。
- 研修開発の計画実行・評価を進める。
- 用意されたプログラムが科学技術の研究・開発に遅れないようにする機構を開発する。
- 個人、民間、その他非政府機関の協力推進により研修項目を広げ、人材・財源他の研修のための資源を確保する。
- 特別なグループを考慮し研修の公平を図る。

2. 農業普及と初処理の分野で人材開発を推進するためのプロジェクトがありますか？

はい： ○

いいえ：

「はい」の場合簡単に理由を述べて下さい。

(参考資料があれば、添付して下さい。)

- 1) KATS (日本) が農業普及員の現職教育をしている。
2) 世界銀行とADP (NALEP) により創立された農業・畜産普及プロジェクト。
3) 農業・畜産研究プロジェクト (NALRP)
4) 農業開発 (南部高地) のための国際基金。

資料：上記プロジェクトに関する資料は農業省にある。

3. 当該分野 (農業普及・初処理) で人材開発に関する教育システムがありますか？

はい： ○

いいえ：

「はい」の場合簡単に理由を述べて下さい。

(参考資料があれば、添付して下さい。)

農業はタンザニア経済の中心であって、小学校でも農業科学科目として教えている。この科目は生徒・学生に農業活動に肯定的な心構えを持たせるためのものである。

中学では農業に偏った教育を行うところもある。ここでは実習に重きが置かれ、学生は将来の教育や職業のための知識や技術を使う。これは彼らにとっても、社会にとっても有益である。

また、各種大学が学位、大学院過程を用意している。(BSc, MSc, PHD)

II. 研修評価について

上記研修は農業普及・初処理分野の人材開発に効果的だと思いますか？

はい： ○

いいえ：

「はい」の場合簡単に理由を述べて下さい。

(参考資料があれば、添付して下さい。)

(相手国技術窓口用) (エジプト)

* 機関 (部門) 名 : MINISTRY OF FOREIGN AFFAIRS

EL WAFDIN (FOREIGN STUDENTS) TRAINING, FINANCIAL, AND
TECHNICAL COOPERATION

* 貴機関 (部門) の職務について簡単に述べて下さい。

・ EL WAFDIN は関係機関と協力関係にある財務委員会。

質問

I. 人材開発計画について

1. 現在、人材開発計画について基本方針がありますか？

はい： ○

いいえ：

「はい」の場合簡単に理由を述べて下さい。

(参考資料があれば、添付して下さい。)

エジプト中の、あらゆるレベルの教育の場、技術学校、大学、研修・研究センターと連絡をとって。

2. 農業普及と初処理の分野で人材開発を推進するためのプロジェクトがありますか？

はい： ○

いいえ：

「はい」の場合簡単に理由を述べて下さい。

(参考資料があれば、添付して下さい。)

米・小麦粉精製所の持株会社に初処理分野での人材開発推進プロジェクトが2つある。第一はアレキサンドリア行政区に米技術研修センター (RTTC) が創立されたことで、ここで国内・国際の研修が行われている。研修コースの期間は3-4週間である。RTTCにはいろいろな技術 (日本とドイツ) の小規模精米機がある。第二はRTTCの拡張としてガルビア行政区のシャブシアに造られた米の副産物の利用のための試験工場である。

3. 当該分野（農業普及・粉処理）で人材開発に関する教育システムがありますか？

はい： ○

いいえ：

「はい」の場合簡単に理由を述べて下さい。

（参考資料があれば、添付して下さい。）

1. 農業省に属する研修センターがある。
2. 開発途上国からの研修員のための農業研修コースを行う国際エジプト・センター。

II. 研修評価について

上記研修は農業普及・粉処理分野の人材開発に効果的であると思いますか？

はい： ○

いいえ：

「はい」の場合簡単に理由を述べて下さい。

（参考資料があれば、添付して下さい。）

(相手国関係機関用)

FOLLOW-UP TEAM
FOR
GROUP TRAINING COURSES
IN
AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE FOR LEADER II
AND
POST-HARVEST RICE PROCESSING

(エジプト)

* 機関名 : Rice Research Section (R.R.S.)
Holding Company for Rice & Flour Mills (H.C.R.F.M.)
Research & Extension (R.E.)

* 業務内容 :

(R.R.S.)

1. 米の新種開発 (高生産量 / 立ち枯れ病、害虫に対する抵抗力 / 不良土壌に対する耐性 / 高品質)
2. 米作を目的とした農業の拡大

(H.C.R.F.M.)

1. 米と小麦の売買
2. 小麦の輸入及び保管
3. 米処理
4. 小麦粉製粉
5. 家畜飼料製造
6. パスタ製品製造
7. 援助
8. 消耗製品の分配
9. 米輸出
10. 研修及び労働の拡大

(R.E.)

1. 研究
2. 農業従事者への最新技術指導
3. 農業従事者への助言
4. 種子確保のための援助

質問

I. 当該分野における研修の重要性

1. 機関内の部署に与えられる優先度は？またその理由

穀類品質研究所 (R.R.S.)

穀類の品質は我々のプログラムの中でも最重要目的のひとつである。したがって、米処理のコースは重要である。

米穀燥及び保管／研修及び応用研究 (H.C.R.F.M.)

保管中の損失を最小限度にするため。

保管中の米の品質維持のため。

米産業従事者の能力を改善、向上させるため。

精米機に関する問題解決のため。

研究・研修 (R.E.)

職務の発展は農業従事者の助けとなる研究を行う有能なスタッフによるからである。

2. その部署におけるプロジェクトの有無

(1) 現在：(1) 有 (1) 無 N.A. - (R.E.)

↓

有の場合、説明して下さい

* 精米技術における第三国研修 (H.C.R.F.M.)

(2) 過去3年：(1) 有 / (1) 無 N.A. - (R.E.)

↓

有の場合、説明して下さい

* 米貯蔵センターの改良 (H.C.R.F.M.)

(3) 過去5年間：(1) 有 / (1) 無 N.A. - (R.E.)

↓

有の場合、説明して下さい

* 米技術研修センターのためのプロジェクトの強化、拡大 (H.C.R.F.M.)

II. 研修コースの評価

1. このコースは貴国の当該分野の要望を満たしましたか。

(2) はい / () いいえ N.A. - (R.E.)

↓

” ” ” の場合、説明して下さい。

2. 農業普及または米処理の分野において要望を満たすためにコースの目的の変更が必要ですか。

() はい / (2) いいえ N.A. - (R.E.)

↓

” はい ” の場合提案か代案をのべてください。

3. 帰国研修員の評価をしていますか。

(3) はい / () いいえ

↓

” はい ” の場合その方法を説明してください。

* 精米操作の確定と新系列の品質の特長の評価につかわれる方法の発展状況を観察する。(R.R.S.)

* 1. 帰国後、研修員から提出される報告書によって

2. 研修員が得た最新の知識を説明するセミナーを開くことによって

3. 研修員の仕事、行動のF/U (H.C.R.F.M.)

* 研修員が研修で得た重要な経験を発表するセミナーを開く。そこで研修員はセミナーに参加している上級職員からの質問にも答える。(R.E.)

III. 研修員の選出方法

1. 研修員をどのように選出していますか

その過程を詳しく説明して下さい。

* 資格のあるグループから候補者を選出する。面接を行い資格者としての十分な知識力及び英語力を有する者をとる。(R.R.S.)

* 選出は研修員が参加したRTTCの研修をベースとし、過去2年間の研修の成績による。(H.C.R.F.M.)

* 各セクション向けの研修プログラムがあり、そこから年功、技術、向上心等を考慮し選出する。それとは別に、各候補者は所属する部署において仕事上満足させる能力がなければならない。(R.E.)

2. 選出に必要な時間

* 2週間 - (R.R.S.) (R.E.)

* N.A. - (H.C.R.F.M.)

3. 研修の情報入手先及び伝達先

* JICA事務所 (カイロ) (R.R.S.)

* 外務省/JICA事務所 (カイロ) (H.C.R.F.M.)

* 外務省/JICA事務所 (Dar es Salaam)

各部署の責任者→部下 (R.E.)

IV. 研修成果の利用

1.

1) 帰国研修員の持ち帰った技術を利用して現れた成果は何ですか？

* 研修員はRRTCにおいて上質の装置を備えた穀類品質研究所を開発し、持ち帰った知識をもとにスタッフの養成にあたった。(R.R.S.)

* 製粉所生産の改良/メンテナンスの改善/生産物の品質改良/生産費の最小化/副産物の品質向上化 (H.C.R.F.M.)

* ほとんどの研修によって、研修員の能力、技術、知識が改善された。

そのほかに、研修員の興味を喚起し研修員自身が経験したことを同僚や仕事仲間と共有することができる。(R.E.)

2) その詳細な方法

* 研究所開発の結果、米の新品種や系列の評価が有益になった。(R.R.S.)

* 1. セミナー

2. リサーチの採択

3. 講義及び研修

4. 米作技術出版物の発行 (H.C.R.F.M.)

* ほとんどの場合、研修員はチームの一員として仕事をし協力していく中で研修で得た知識を他のスタッフと共有していく。(R.E.)

2. 研修員の知識の有効な利用法はありますか。

(2)はい / ()いいえ N.A. - (R.E.)

↓

”はい”の場合、説明して下さい

* 帰国研修員に対して日本で米処理に関する最新の技術を再研修させることが研修員の知識を有効利用する上で大切なことである。(R.R.S.)

* 損失を最小限度にするための公私企業分野の開発。

第三国研修を通じてアフリカの研修員に知識を伝達する。(H.C.R.F.M.)

Thank you very much for your cooperation.

(相手国関係機関用)

FOLLOW-UP TEAM
FOR
GROUP TRAINING COURSES
IN
AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE FOR LEADER II
AND
POST-HARVEST RICE PROCESSING

(タンザニア)

* 機関名 : MINISTRY OF AGRICULTURE (農業省)
TANZANIA PRISONS SERVICE
NATIONAL AGRICULTURAL AND FOOD CORPORATION

* 業務内容 : 農業/牧畜生産推進の先進技術を農家にアドバイスできる普及員の雇用。

(MINISTRY OF AGRICULTURE)

各種職業の研修、工業・農業生産活動への参加を通しての収容者の安全な収監と受刑者の矯正。食料・家畜を産する農業ユニットは国家収入に貢献している。

(TANZANIA PRISONS SERVICE)

本組織は輸入食料を補助する食品(穀類)の生産者としてわが国で唯一最大であり、主に米、麦、とうもろこしを生産する大規模機械化農場を有する。その他にわとり、豚等の家畜を飼育し、ココナッツを生産する。本組織は商業ベースの食料を生産し、農業家畜開発省の下にある半官半民組織である。

(NATIONAL AGRICULTURAL & FOOD CORPORATION)

質問

I. 当該分野における研修の重要性

1. 機関内の部署に与えられる優先度は？

- * a) 普及
- b) 研修 (M.O.A.)
- * 農業生産Sub-Sector (T.P.S.)
- * a) 農業
- b) 畜産 (NAFCO)

*その理由

- * 農家・畜産家に最新の技術で接する普及員やトレーナーの取得。 (M.O.A.)
- * 食物自給と食物輸入削減の国政の一部
 - 収容者の矯正を目的とした活動
 - 農業コミュニティ（近隣の村）への近代的農業・畜産経営公開。 (T.P.S.)
- * NAFCO の到達目標による。 (NAFCO)

2. その部署でのプロジェクトの有無

(1) (1) 有 / (2) 無

↓

有の場合、説明して下さい。

- * a) 米プロジェクト カブング米プロジェクト
 ダカワ米プロジェクト 第2段階
 マディビラ米プロジェクト
- b) 畜産 西キリマンジャロ
 ムバラリ (NAFCO)

(2) 過去3年間 ; (1) 有 / (2) 無

↓

有の場合、説明して下さい。

(3) 過去5年間 ; (1) 有 / (2) 無

↓

有の場合、説明して下さい。

II. 研修コースの評価

1. このコースは貴国の当該分野の要望を満たしましたか。

(3) はい / () いいえ

↓

いイエの場合、説明して下さい。

2. 農業普及または初処理分野において貴国の要望を満たすためコース目的の変更が必要ですか。

() はい / (3) いいえ

↓

はいの場合、提案か代案を述べて下さい。

3. 帰国研修員を評価していますか。

(2) はい / (1) いいえ

↓

はいの場合、その方法を説明してください。

* コースのレポートを通して。

農業担当上司との面接。

現場での作業の質を観て。

初処理損失の減少。

(T.P.S.)

* 第一に勤務の報告書と同時に研修報告書を提出。第二に6か月ごとに研修結果の応用・利用効果について報告書を提出。F/Uは十分になされる。(NAFCO)

III. 研修員の選出方法

1. 研修員をどのように選出していますか。その過程を詳しく説明して下さい。

* それぞれの地域の農業・畜産開発担当官の優先順位があり、経験や学術的資格により候補者を選べる。(M.O.A.)

* コースの必要要件と個人の学位等を釣り合わせる。

いろいろな刑務所農園からの候補者を比べる。

候補者の話す、書く能力を評価する。

研修を本当に必要としているもの。(T.P.S.)

* a) NAFCO の研修を通じて候補者に優先順位がつけられ、研修プログラムに組まれる。

b) 時に特別に省がチャンスをくれコースに必要な資格を持つものを見付けることがある。(NAFCO)

2. 選出に必要な時間。

- * 3か月 (M.O.A.)
- * 2週 (T.P.S.)
- * プログラムと機会を得るタイミングによる。 (NAFCO)

3. 研修の情報入手先及び伝達先。

- * 外務省 → 労働省公務員部 → J I C A (M.O.P.)
- * タンザニア J I C A より。
可能な候補者を選び、部内の最終選考がなされる面接に呼ぶ。 (T.P.S.)
- * 労働省か農業省
書簡による (NAFCO)

IV. 研修成果の利用

1. 1) 帰国研修員の持ち帰った技術を利用して現れた成果は何ですか？

- * 働く姿勢の変化。農家と手を携えて働く。
新しい知識と技術を農家に普及。 (M.O.A.)
- * 米生産と米処理の全分野の能率が高くなった。
技師と農業監督の研修。 (T.P.S.)
- * 仕事の改善。 (NAFCO)

2) その詳細な方法。

- * 日本から得たものを他の普及員に教える。そうすれば多くの農家が利益を得る。 (M.O.A.)
- * 帰国研修員が情報を普及する。 (NAFCO)

2. 研修員の知識の有効な利用法はありますか。

(3)はい/ () いいえ

↓

はいの場合、その方法を説明してください。

- * 普及員対象の研修会やセミナーを開催し、帰国研修員は研修の中心になる。 (M.O.A.)
- * 注文じたてのプログラムや職場内訓練に使う。 (NAFCO)

6. 帰国研修員用クエスチョネア集計

[エジプト]

II 研修員が(以下に質問に答えて下さい)で得た知識や経験を日常業務に活用

1. 帰国後「はい」の回答は、理由を述べて下さい。

(1) 以下の質問に答えて下さい。知識、経験をあなたの業務に活用し

- ・ 伝達技術、教授方法、日本での実際的経験 (PETER BOMBO BARIE)
- ・ 技術移転、研修、普及計画、SMS アプローチ (DEUSDEDIT MUTAHABA RUGANGILA)
- ・ 伝達技術、教授方法、日本での実際的経験 (AHMAD KASSIM HAJI)
- ・ 技術移転、研修、普及計画、SMS アプローチ (MUHAMMED MARSHED-KHARUSY)
- ・ 伝達技術、教授方法、日本での実際的経験 (ISSA IBRAHIM MAHMOUD)
- ・ 技術移転、研修、普及計画、SMS アプローチ (AHMED MAMDOUH EL-BAZ)
- ・ 伝達技術、教授方法、日本での実際的経験 (HASSAN MOHAMED SALEH)
- ・ 技術移転、研修、普及計画、SMS アプローチ (MOHAMAD ISMAIL AHMED)
- ・ 伝達技術、教授方法、日本での実際的経験 (AMER ABBAS AHMED)
- ・ 技術移転、研修、普及計画、SMS アプローチ (LAILA AHMED EL-KIEI)
- ・ 伝達技術、教授方法、日本での実際的経験 (FAYEZ MOHAMED ABDULLAH)
- ・ 技術移転、研修、普及計画、SMS アプローチ (MAHMOUD FAKHRY AHMED FARES)
- ・ 伝達技術、教授方法、日本での実際的経験 (MOSTAFA AHMED MOHAMED SHEHATE)
- ・ 技術移転、研修、普及計画、SMS アプローチ (HANY MOFID ABOU EL KHIER)
- ・ 伝達技術、教授方法、日本での実際的経験 (MOHAMED HELMY DIAB)
- ・ 技術移転、研修、普及計画、SMS アプローチ (OSMAN ABD EL FATTAH AHMED SHARAWY)
- ・ 伝達技術、教授方法、日本での実際的経験 (MOHAMED HESHAM MOHAMED OKASHA)
- ・ 技術移転、研修、普及計画、SMS アプローチ (TAREK EZZAT ABOU ZAID)
- ・ 伝達技術、教授方法、日本での実際的経験 (AHMED AMER)
- ・ 技術移転、研修、普及計画、SMS アプローチ (TALAAT MOHAMED YOUNIS EL-DWEENI)
- ・ 伝達技術、教授方法、日本での実際的経験 (A. A. EL-HISSEWY)
- ・ 技術移転、研修、普及計画、SMS アプローチ (HATEM RASHED AREF)
- ・ 伝達技術、教授方法、日本での実際的経験 (MOHAMED IBRAHIM EL SAIED)
- ・ 技術移転、研修、普及計画、SMS アプローチ (MAHMOUD M. EL-SIGINY)
- ・ 伝達技術、教授方法、日本での実際的経験 (HASSAN SAYED HASSAN IBRAHIM)

(2) どのように活用したかを詳細に述べて下さい。

- ・ 私の監督下にある農家や普及員のために (PETER BOMBO BARIE)
- ・ 会議、夜間の移動、映画会、ラジオ番組、実習を通してココナッツの多種育成 (DEUSDEDIT MUTAHABA RUGANGILA)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (AHMAD KASSIM HAJI)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (ISSA IBRAHIM MAHMOUD)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (AHMED MAMDOUH EL-BAZ)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (HASSAN MOHAMED SALEH)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (OSMAN ABD EL FATTAH AHMED SHARAWY)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (MOHAMED HESHAM MOHAMED OKASHA)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (TAREK EZZAT ABOU ZAID)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (AHMED AMER)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (TALAAT MOHAMED YOUNIS EL-DWEENI)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (A. A. EL-HISSEWY)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (HATEM RASHED AREF)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (MOHAMED IBRAHIM EL SAIED)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (MAHMOUD M. EL-SIGINY)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (HASSAN SAYED HASSAN IBRAHIM)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (DEUSDEDIT MUTAHABA RUGANGILA)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (AHMAD KASSIM HAJI)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (ISSA IBRAHIM MAHMOUD)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (AHMED MAMDOUH EL-BAZ)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (HASSAN MOHAMED SALEH)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (OSMAN ABD EL FATTAH AHMED SHARAWY)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (MOHAMED HESHAM MOHAMED OKASHA)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (TAREK EZZAT ABOU ZAID)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (AHMED AMER)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (TALAAT MOHAMED YOUNIS EL-DWEENI)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (A. A. EL-HISSEWY)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (HATEM RASHED AREF)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (MOHAMED IBRAHIM EL SAIED)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (MAHMOUD M. EL-SIGINY)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (HASSAN SAYED HASSAN IBRAHIM)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (DEUSDEDIT MUTAHABA RUGANGILA)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (AHMAD KASSIM HAJI)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (ISSA IBRAHIM MAHMOUD)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (AHMED MAMDOUH EL-BAZ)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (HASSAN MOHAMED SALEH)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (OSMAN ABD EL FATTAH AHMED SHARAWY)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (MOHAMED HESHAM MOHAMED OKASHA)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (TAREK EZZAT ABOU ZAID)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (AHMED AMER)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (TALAAT MOHAMED YOUNIS EL-DWEENI)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (A. A. EL-HISSEWY)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (HATEM RASHED AREF)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (MOHAMED IBRAHIM EL SAIED)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (MAHMOUD M. EL-SIGINY)
- ・ 普及員や農家への研修を、実際の前に前述の項目について考慮して実施 (HASSAN SAYED HASSAN IBRAHIM)

- (4) 研修成果を活用するにあたって、他に何か問題点があれば述べて下さい。
- ・適任人材、運搬、装置の不足 (AHMAD KASSIM HAJI)
(ISSA IBRAHIM MAHMOUD)
 - ・グリーン・メーター (愛媛県松山で見た) の商品名と日本の販売社の住所が知りたい。JICAカイロ事務所ではわからなかった。 (AHMED MAMDOUH EL-BAZ)
(LAILA AHMED EL-KIEI)
 - ・グリーン・メーターが必要だ。
 - ・実験計測装置の不足 (Lab-grading machine, Lab-milling machine) (MOHAMED HESHAM MOHAMED OKASHA)

III. 研修コース評価

1. コースの評価
(1) コースのプログラムは、あなたに合ったものでしたか?

- はい : 21
いいえ : 4
「いいえ」の場合は理由を述べて下さい。
- ・講義はすべて良かった。 (AHMAD KASSIM HAJI)
 - ・日本語で講義されたので講師と研修員間の直接の接触が難しくなかった。 (AHMED MAMDOUH EL-BAZ)
 - ・講義の数が多過ぎて理論的になり過ぎた。 (HASSAN MOHAMED SALEH)
 - ・ほとんどの講義が日本語で行われ、通訳に時間がかかった。 (MOHAMAD ISMAIL AHMED)
 - ・近代的普及型に近づいた方がよい。 (AMER ABBAS AHMED)
 - ・普及型に必要な管理能力について。 (LAILA AHMED EL-KIEI)
 - ・中級レベルだった。 (OSMAN ABD EL FATTAH AHMED SHARAWY)

(2) 見学については、 はい : 20 無回答 : 1

- いいえ : 5
「いいえ」の場合は理由を述べて下さい。
- ・農家や普及員と話す時間がなかった。 (AHMAD KASSIM HAJI)
 - ・講義やデモンストラティブな見学の時間が短すぎた。 (ISSA IBRAHIM MAHMOUD)
 - ・研修時間は短すぎた。 (AHMED MAMDOUH EL-BAZ)
 - ・見学の時間が短すぎた。 (HASSAN MOHAMED SALEH)
 - ・時間が短すぎた。 (LAILA AHMED EL-KIEI)

(3) 実習については、 はい : 16 無回答 : 2

- いいえ : 8
「いいえ」の場合は理由を述べて下さい。
- ・実習時間が短か過ぎた。 (AHMAD KASSIM HAJI)
 - ・理論的で十分実際的ではなかった。 (ISSA IBRAHIM MAHMOUD)
 - ・たいへん短くて全部のトピックをカバーできなかった。 (HASSAN MOHAMED SALEH)
 - ・詳細な実習。見るだけでなく機械を実際に動かしてみる。 (MAHMOUD FAKHRY AHMED FARES)
 - ・私の場合、貯蔵と乾燥に出席するはずだった。2週間では十分ではない。 (MOSTAFA AHMED MOHAMED SHEHATE)
 - ・特に籾の後処理機の保守、修理の実習がもっと出来るかと思った。 (OSMAN ABD EL FATTAH AHMED SHARAWY)
 - ・十分ではなかった。 (MOHAMED HESHAM MOHAMED OKASHA)
 - ・十分ではなかった。 (MAHMOUD M. EL-SIGINY)

2. 今後の研修で、あるいは新たに導入したい知識や技術がありますか?

- ・研修の理由、普及の繋がり。 (PETER BOMBO BARIE)
- ・研修の場所、普及の意図、動機についての意見交換。 (AHMAD KASSIM HAJI)
- ・研修の時間、普及の意図、動機についての意見交換。 (MUHAMOUD NASSOR MASHAED-KHARUSY)
- ・研修の目的、普及の意図、動機についての意見交換。 (ISSA IBRAHIM MAHMOUD)
- ・研修の目的、普及の意図、動機についての意見交換。 (AHMED MAMDOUH EL-BAZ)
- ・研修の目的、普及の意図、動機についての意見交換。 (HASSAN MOHAMED SALEH)
- ・研修の目的、普及の意図、動機についての意見交換。 (MOHAMAD ISMAIL AHMED)
- ・研修の目的、普及の意図、動機についての意見交換。 (AMER ABBAS AHMED)
- ・研修の目的、普及の意図、動機についての意見交換。 (LAILA AHMED EL-KIEI)
- ・研修の目的、普及の意図、動機についての意見交換。 (MAHMOUD FAKHRY AHMED FARES)
- ・研修の目的、普及の意図、動機についての意見交換。 (MOSTAFA AHMED MOHAMED SHEHATE)
- ・研修の目的、普及の意図、動機についての意見交換。 (MOHAMED HESHAM MOHAMED OKASHA)

- ・パーボイル技術、強化米技術、米粉からのベビーフードの技術。
(MOHAMED HELMY DIAB)
- ・実習、生産技術、精米機の操作法、精米機の日・月・年時保守、見学。
(TALAAT MOHAMED YOUNIS EL-DWEENI)
- ・米貯蔵、乾燥の開発技術を加えてほしい。良い貯蔵施設で行われるべきである。
(A. A. EL-HISSEWY)
- ・パーボイルドライスの講義、実習
副産物利用。
(HATEM RASHED AREF)
- ・もったいない実習。
(MAHMOUD M. EL-SIGINY)
- ・精米機や収穫機の米処理機は小規模農家にとって最も大切である。
(HASSAN SAYED HASSAN IBRAHIM)
- ・パーボイルドライスの講義、実習
Assembling/Disassembling machineの講義、実習
副産物利用
(MOHAMED IBRAHIM EL SAIED)
- 3. 研修プログラムを改善するために何かコメントがあれば、述べて下さい。
- ・研修員が農家と接触出来る方法。実習を強調する。
(DEUSDEDIT MUTAHABA RUGANGILA)
- ・コースを6か月にしてほしい。
(AHMED KASSIM HAJI)
- ・講義を比較して月グールにプッシュする。
(ISSA IBRAHIM MAHMOUD)
- ・技術力特別に選べば研修員が日本を再訪する。
(AHMED MAMDOUH EL-BAZ)
- ・英語で講義を日本語で講義する(2~3か月)。
(HASSAN MOHAMED SALEH)
- ・英又英語講義実習期間評価英研米実機上Laboratory研修10年佐
講義は英語で講義する。減らす。研修員の名前を書かせないでほしい。
(MOHAMAD ISMSIL AHMED)
- ・英語で講義する。減らす。研修員の名前を書かせないでほしい。
(AMER ABBAS AHMED)
- ・英語で講義する。減らす。研修員の名前を書かせないでほしい。
(LAILA AHMED EL-KIEI)
- ・英語で講義する。減らす。研修員の名前を書かせないでほしい。
(MOSTAFA AHMED MOHAMED SHEHATE)
- ・英語で講義する。減らす。研修員の名前を書かせないでほしい。
(MOHAMED HESHAM MOHAMED OKASHA)
- ・英語で講義する。減らす。研修員の名前を書かせないでほしい。
(MOHAMED HELMY DIAB)
- ・英語で講義する。減らす。研修員の名前を書かせないでほしい。
(TAREK EZZAT ABOU ZAID)
- ・英語で講義する。減らす。研修員の名前を書かせないでほしい。
(AHMED A. AMER)
- ・英語で講義する。減らす。研修員の名前を書かせないでほしい。
(TALAAT MOHAMED YOUNIS EL-DWEENI)
- ・英語で講義する。減らす。研修員の名前を書かせないでほしい。
(A. A. EL-HISSEWY)
- ・英語で講義する。減らす。研修員の名前を書かせないでほしい。
(MAHMOUD M. EL-SIGINY)
- ・同じ国から研修員を毎年取っているのだから2年毎にコースを変えるべきだ。
(MAHMOUD M. EL-SIGINY)
- ・①機械・装置の見学を長く。学ぶために一日中側にいるべきだ。
(HASSAN SAYED HASSAN IBRAHIM)
- ・②精米機運転の中調査、specification controlの詳細を入れてほしい。
- ・③実験分析、調査、specification controlの詳細を入れてほしい。

無回答： 9

- IV 帰国研修員に対するフォローアップして研修員や帰国研修員同窓会支援団体に雑誌を配布してはきまらしたか？
1. JICAはアフリカ、アジア、オセアニアの何かが必要ですか？
・新住所も知らせたが1986年以来受け取っていない。是非欲しい。
(PETER BOMBO BARIE)
 - ・一度も受け取っていない。
(DEUSDEDIT MUTAHABA RUGANGILA)
 - ・毎年またはそれに準ずるフォーラムの開催。
(HASSAN MOHAMED SALEH)
 - ・Farming Japan を一度受け取ったので続けてほしい。
(LAILA AHMED EL-KIEI)
 - ・日本の知識と接触を続ける。
(AHMED MAMDOUH EL-BAZ)
 - ・研修員同窓会のアレキサンドリア支部設置。
(FAYED MOHAMED ABDULLAH)
 - ・研修員同窓会のアレキサンドリア支部設置。
(MAHMOUD FAKHRY AHMED FARES)
 - ・研修員同窓会のアレキサンドリア支部設置。
(MEDHAT ABD EL MONIEM EL DALIL)
 - ・研修員同窓会のアレキサンドリア支部設置。
(HASY MOFID ABOU EL KHIER)
 - ・研修員同窓会のアレキサンドリア支部設置。
(OSMAN ABD EL FATTAH AHMED SHARAWY)
 - ・研修員同窓会のアレキサンドリア支部設置。
(MOHAMED HELMY DIAB)

(TAREK EZZAT ABOU ZAID)
(HATEM RASHED AREF)
(MOHAMED IBRAHIM EL SAIED)

- ・ 3年間は受け取っていない。日本の農業機械の出版物が送ってほしい。
(MOHAMAD ISMAIL AHMED)
(AMER ABBAS AHMED)
- ・ 帰国研修員のための上級コース。
(MOSTAFA AHMED MOHAMED SHEHATE)
- ・ 佐竹、東洋、山本などメーカーのカタログや出版物
(MOHAMED HESHAM MOHAMED OKASHA)
- ・ 講師や訪問した会社と情報交換
(A. A. EL-HISSEWY)
- ・ 10年間は続けるべきだ。帰国研修員に新情報を用意するのはとても大切。
(MAHMOUD M. EL-SIGINY)
- ・ 3-5年間届いたきり。
(HASSAN SAYED HASSAN IBRAHIM)
- ・ 帰国後届いていない。新しくするため最新情報を日々提供する。
(HASSAN SAYED HASSAN IBRAHIM)
- ・ 我々の経験と知識を新しくするための会議やセミナーを持つ。
(HASSAN SAYED HASSAN IBRAHIM)

無回答： 2

V 海外研修について
1. 日本以外で、同様の研修やセミナーに出席したことがありますか？

はいえ： 1 2
はい： 1 1
無回答： 3

[タンザニア]

II. 研修の活用にあたって（以下の質問に答えて下さい）

1. 帰国後本研修（講義、見学、並びに研修旅行）で得た知識や経験を日常業務に活用しましたか？

いいえ : 0

「いいえ」の場合、理由を述べて下さい。

はい : 9

「はい」の場合、以下の質問に答えて下さい。

(1) 研修プログラムの中でどのような内容、知識、経験をあなたの業務に活用しましたか？

・ 米乾燥・乾燥機、精米機・関連装置、東洋・佐竹

(FLEXOH E. J. LAUWO)

・ 収穫前処理、収穫、精米前の処理、収穫後ロス、貯蔵

(FRANCIS M. MPANGALALA)

・ 1. 生産 2. 農機具 3. 貯蔵技術 4. 販売

(EPIMAKI B. P. TARIMO)

・ 貯蔵害虫管理と適切な貯蔵を通して穀粒損失を減らす。

(SAMUEL H. SHETUI)

・ 田で穂が茶色になるとすぐ刈取る必要があるという知識。

米処理に関する品質保持。 (JOHN EDUARDO NICHOLOUS MAPUNDA)

・ 1. 精米処理前の米の水分量確認

2. 片側精米機のassembling & disassembling

(HAMAD MUSSA HAMAD)

・ a. 米栽培と害虫駆除

b. 田の水管理

c. 米収穫

d. 品質の良い米

(PATRIK HERMAN CHIBANHILA)

・ 収穫、乾燥、貯蔵、精米、収穫後の効果的処理計画

(MAKAME ALI USSI)

・ 近代的精米機の不足のため精米工程の活用は限られている。

(RAMADHAN SALIM MVULLE)

(2) どのように活用したかを詳細に述べて下さい。

・ 業務に合った機械を使うことは我々の会社の利益似つながる。 (LAUWO)

・ 収穫後の米の予選別・乾燥工場への効果的でスムーズな運搬の監督。

熟処理時の種初扱いにより後処理ロスを少なくする。 (MPANGALALA)

・ 私は小麦の機械化農法に従事していて上記のことは米作と同様小麦にも日常行われている。 (TARIMO)

・ 我々の農場では穀類の袋を木の株にかけ、伸びる時に薰じようする。

(SHETUI)

- ・私は直接米作に従事しているなのでその知識・経験は農家に教えることによって活用されている。 (MAPUNDA)
- ・米処理機械の問題を修正するのは容易である。 (HAMAD)
- ・乾燥下での米作には野生の米の集約度を減らした良い撒き床が必要である。撥土板鋤を使ってなされる。良い水管理は第二世代の雑草を減らすことになり、収穫時に雑草の心配がなくなる。20-18%の水分含有米の収穫には好機のコンバイン使用が質を向上させる。 (CHIBANHILA)
- ・米収穫の好機、乾燥、貯蔵、精米、処理について省にも農家にも助言している。農家教育にも積極的に参加している。 (USSI)
- ・精米機はSATAKE Co.設計の旧モデルを使用している。行われている工程は初とぬか層を同時に取ることである。精米や選別は行われていない。 (NVULLE)

(3) 帰国後ただちに研修で得た知識、技術を業務に活用しましたか？

いいえ : 1

「いいえ」の場合理由を述べて下さい。

- ・時間がなかった。機械をドイツのから日本製へ全部替える必要がある。

(LAUWO)

はい : 8

2. 研修のうちで業務に役立たなかったものがありますか？

いいえ : 6

はい : 3

「はい」の場合理由を述べて下さい。

- ・筑波宇宙センター訪問。 (LAUWO)
- ・機械乾燥は装置がないので役に立たない。 (SHETUI)
- ・パーボイル・ライスの理論も実習も活用できない。 (NVULLE)

3. 研修成果を業務に活用するにあたっての問題点に関して以下の質問に答えて下さい。

(1) 研修成果を活用するにあたって、あなたの上司は協力的ですか、あるいは、協力的でしたか？

はい : 9

いいえ : 0

(2) 研修成果を活用するにあたって、十分な用具、材料を与えられましたか？

はい : 2

いいえ : 7

(3) 研修成果を活用するにあたって、十分な人材を与えられましたか？

はい : 5

いいえ : 4

(4) 研修成果を活用するにあたって、他に何か問題点があれば述べて下さい。

- ・ 日本製近代的機械の不足 (精米機) (LAUWO)
- ・ 日本に比べタンザニアの技術進歩の遅れ (TARIMO)
- ・ 乾燥等こちらの方法に日本で学んだ知識を活用した。 (SHETUI)
- ・ 研修で学んだ知識を活用するために必要な用具の不足。 (MAPUNDA)
(HAMAD)
- ・ 野生米が問題となっている地域に耕耘機・移植機を使うアイデアは良かったが、機械の調達が問題だ。 (CHIBANHILA)
- ・ 唯一の問題は農家で、伝統的な農家は適切な収穫後技術を取り入れたがらない。 (USSI)
- ・ 我が国の貧しい経済状態による十分な機械・装置の不足。 (MVULLE)

III. 研修の評価

1. 研修プログラムはあなたの期待あるいは目標に沿うものでしたか？

(1) 講習については、 はい : 6

いいえ : 3

「いいえ」の場合は理由を述べて下さい。

- ・ 収穫後の技術についてもっと知りたかった。収穫後ロスを減らすため農家が適切な技術を取り入れているのを見たかった。そうすれば日本の大学と協力している農家の状況を学べる。PHD 学位の研究課題として興味深い。 (USSI)

(2) 見学については、 はい : 6

いいえ : 3

「いいえ」の場合は理由を述べて下さい。

- ・ 時間の点について - さまざまな見学の時間が十分でなかった。 (MAPUNDA)
(MVULLE)
- ・ 上記に同じ (USSI)

(3) 実習については、 はい : 6

いいえ : 3

「いいえ」の場合は理由を述べて下さい。

- ・ 十分な時間が用意されるべきだ。 (MAPUNDA)
- ・ 上記に同じ (USSI)
- ・ 詳しく学ぶには時間が限られていた。 (MVULLE)

2. 今後の研修で力を入れたい、あるいは新たに導入したい知識や技術がありますか？
あれば、その理由は？

- ・米乾燥、籾摺り、貯蔵が第三世界の国にとって大きな問題である。(LAUWO)
- ・理論、実習、旅行を組み合わせた現在のカリキュラムが我々の側からも一番良いものである。(MPANGALALA)
- ・タンザニアではたいがいの農家が自分で種を取るので種子技術が大切。(TARIMO)
- ・収穫中・後のロスを減らす方法。(SHETUI)
- ・日本は研修員の国に比べ進んでいるので乾燥、籾摺り、精米等中くらいの技術を教えて現状を改善する必要があると思う。(MAPUNDA)
- ・開発国ではなく開発途上国の現状に合わせた知識・技術。(HAMAD)
- ・米処理施設の計画・管理と普及。(USSI)
- ・収穫機械の技術と収穫後ロス管理機。
貧しい国に合った鳥を齧す道具。
機械の保守・修理の研修。(MVULLE)

3. 研修プログラムを改善するために何かコメントがあれば、述べて下さい。

- ・研修員と受入側の関係改善のため科目と講師の比率を見直す。(TARIMO)
- ・ロス、特に貯蔵ロスについて講師は我々開発途上国から学び、どうすれば良いか教えてほしい。(SHETUI)
- ・実習の時間を増やす。
講義の後の実習－ある科目の講義に続いて必要ならば実習をすぐ後で行う。(MAPUNDA)
- ・コース・プログラムは良いものだったが実習、特に農作業と機械にもっと時間が欲しい。(HAMAD)
- ・普及のキーポイントの紹介とコース期間を少なくとも6か月に伸ばす。(USSI)
- ・研修員が研修期間中に機械の実習をして国に帰るのは基本的なことである。日本政府は研修員の国にローンを用意し、それぞれの国は結果を見てローンを払い機械を買うようにする。フォローアップ・チームは帰国研修員のことを知る適切な機会を持てる。(MVULLE)

IV. 帰国研修員に対するフォローアップ

1. JICAはアフターケアの一環として研修員や帰国研修員同窓会支援団体に雑誌を配布してきましたが、他に何か要望がありますか？

- ・同窓会は何のサービスもしてくれない。(LAUWO)
- ・機関を通さず個人に直接送るべきだ。
コミュニケーション・情報の分断を避けるため。(MAPUNDA)

- ・世界の多くの国へのJICAの援助に感謝する。私のPhD コースに支援をお願いしたい。" Farmer's Attitude Towards Post-Harvest Technology and Its Effects on Seed Quality/Production " について研究したい。(USSI)
- ・帰国研修員は研修コースに参加してその知識と経験をリフレッシュする必要がある。(MVULLE)

V . 海外研修について

1. 日本以外で、同様の研修やセミナーに出席したことがありますか？

いいえ : 7 無回答 : 1
はい : 1

2. 他国の研修と比較し、本コースの改善に資するコメントがありますか？

- ・ドイツのものは長いコースで、JICAのは学ぶことが多くあったが短いコースだった。(LAUWO)

7. クエスチョネア(コース別)フォーム

FOLLOW-UP MISSION QUESTIONNAIRE
(for the interview to the related organization)

[Agricultural Extension Service for Leader Course]

- 1) How do you organize the agricultural extension services?
Please mention if the activities of extension workers are integrated under certain organization or if each ministries, agencies, and department acts as organ of extension services.
Explanation by flow-chart is requested.
- 2) How does your ministry of agriculture and livestock development arrange the relation between extension administration and research institutes and also how does your ministry set up the agricultural supporting system such as agricultural cooperative association?
Explanation by flow-chart is requested.
- 3) How is the agricultural technology newly developed at research institutes planned to be transferred to farmers?
- 4) What kind of activities do you have for extension services?
- 5) Do farmers have any systems to adopt, execute, and furthermore diffuse newly developed technology?
- 6) Please point out the problems related to agricultural extension services.
- 7) Do you have any topics you wish to be included in "Agricultural Extension Service for Leader Course" of JICA? Please mention three topics which you consider most important.

FOLLOW-UP MISSION QUESTIONNAIRE

(for the interview to the related organization in Tanzania)

[Post Harvest Rice Processing Course]

- 1) Please list three major problems which you encounter now on the post-harvest rice processing.
- 2) Where and by whom the quality check of rice is done ?
Please mention the inspection criteria, grading and pricing of rice.
- 3) What measure do you use to improve the post-harvest loss ?
- 4) Please let us know the cases you haven't had the result as expected because the difference between Japonica and Indica affects the performance of huller and rice-cleaning machine sent from Japan.
- 5) What kind of farming tools/machines/facilities are presently used by farmers for post-harvest rice processing ?
- 6) Do you have any post-harvest rice processing machineries which were developed by yourselves or those which are on the process of development for the use of farmers ?
- 7) Please explain your farmers' cooperatives and their activities.
- 8) Do you have any topics you wish to be included in "Post-Harvest Rice Processing Course" of JICA ? Please mention three topics which you consider most important.

8. コース別クエスチヨネア集計

Answers for Follow Up Mission Questionnaire
(for the interview to the related organization in Egypt)

[Post Harvest Rice Processing Course]

Q.1 - Storage, Seed inspection, Small milling machines.

- Handling, Losses, Drying.
- a) There is no drying facilities to meet the problems of harvesting large amount of high moisture paddy in short space of time using combine harvesters.
- b) The problem of matching the available rice millers with long grain varieties in Egypt.
- c) Non proper storage facilities in rice milling companies.
- a) Traditional methods used in harvesting, threshing, winnowing.
- b) Transportation by animals in narrow and rough road, and also by small cars, the fair distance between fields and rice mills.
- c) Storage...Losses causes by temperature, humidity, animal damage (We want to make wear houses ,special seilo for bulk storage)
- d) Milling - Engelberg machine used in private sector causes losses special in quality high percentage of broken, but public sector we have modern machine and losses very small.

Harvesting	Average Loss %	1.5 %
Threshing		5.5 %
Winnowing		0.2 %
Transport		4.5 %
Storage		5.0 %
Total		16.7 %

- e) The high price of new machine from Japan.

Q.2 - Milling Companies.

- Ministry of Supply, Importing & Exporting Authority. The prices are depended on the demand and the supply.

Q.2 - The quality check of rice is done in milling companies by their staff.

Inspection criteria:

For paddy: - Grain initial M.C.

- percentage of empty, immature, and stones in samples.

For white rice: - percentage of broken grains.

- Pricing of rice based on variety and quality and it may range from 450 - 650 L.E.

- Sal Wat Sobhy Habib Alex Rice Mill Egypt or local consumption by company of rice marketing, and by the company of rice mill and by purchasers.

For export : by company of rice mill. Purchers have office to review the grade of rice and government organization for inspection all crops which we export or import, Agriculture quarantine to inspection if there is insect or no.

We have many grades for white rice , according to yellow grain, chalky grain, broken rice. m.c. 14% - degree of colour, and the high grade have high price, and in paddy by inspection the degree of cleaning - damage grain - m.c.

Q.3 - Mechanization of harveting and introducing, drying and storage units.

- Harvesting at a proper moisture content.

Proper operation of milling machines. (There is no enough facilities to reduce drying and storage losses in Egypt).

- To improve the post harvest losses we must improve the methods of harvest, threshing, transportation

.using modern machine for milling

.change the system of storage, using Seilo as a bulk storage,

.harvest using combine.

Q.4 - Indica consumes more rubbers rolls and reduces the capacity and efficiency of paddy separator.

- For hulling machine, there is no problem in rubber roller hulling machine in hulling long and short grain varieties. However, the problem appears in whitening process.

For cleaning machines we do not have units of this machine in R.M.C.

a) Huller	short grain	long grain
durability of rubber roll	300 ton	200 ton
efficiency	90 %	80 %
broken	1 - 1.5 %	2 - 2.5 %

b) Cleaning

We must change the diminution of plate.

precleaning	short grain	long grain
	6 ϕ round hole	5 ϕ
cleaning		
slot perforated	2 \cdot 1/2 ϕ	2 \cdot 1/4 ϕ

c) Paddy separator

We must change the tray from 4 - 4 \cdot 1/2 ϕ indented but we haven't.

Q.5 - Small scale harvesters.

- Transplanter, combine, threshing machines but still manual common.
- some types of threshing machines.
- Some of them have combine by farmers cooperatives, some of them have Engelberg machine.

Q.6 - No

- Threshing machine
- a) We have developed a natural convection solar dryer for drying cereal crops under Egyptian climatic condition.

Q.6 b) A dryer for accelerated partial drying and sterilization of high moisture paddy still under development.

- No

Q.7 - Rice producers association which supply the farmer with seeds, pest side fertilize, loans,etc.

- The farmers cooperative includes:

Farmer credit Bank and their branches. The activities includes:

a. Supply of fertilizer, seeds, and pesticide.

b. Supply a credits for purchasing tractors, and other machines.

c. Marketing of some crops. However, rice is became free market since 1991.

- We have 4200 farmers cooperatives.

Selection membership of board director:

.village level selection by all farmers

.center(city) level selection by membership of board director of village level

.government selection by membership of board director of center. (city)

.all Egypt selection by member of government

Activities:

.distribution seeds, Fertilizer by loan.

.marketing the crops.

.give loan for new projects.

.provid farmers by some machine. (combine, tractor)

Q.8 - Practical training on :

.quality test on aboratories level and the machines used.

.seed inspection.

.the newly developed technology for storage in both large and small scale

Q.8 - .By-products

- .Rice based products, quick cook rice, rice crispies
- .Snacks, noodles, breakfast cereals....etc.
- .Rice parboiling.
- .Utilization of renewable sources of energy (solar energy) in drying high moisture grains.
- .Small farm storage facilities for village level.
- .Free marketing.
- .How to decrease the broken rice in rice production by improvement machine.
- .performed a good maintenance.

9. 英文所見

Egypt, December 1, 1994

Dear Sir / Madame :

It is my great pleasure to submit the Summary Report of the Follow-Up Mission of the Group Training Course in the field of Agricultural Extension Service and Post-Harvest Rice Processing.

The Mission, which was dispatched by the Japan International Cooperation Agency as a part of its technical follow-up program, and consists of three members as mentioned in the report, arrived in Egypt on November 27, 1994. Through the visit of this time, we could obtain many valuable comments and suggestions about the above-mentioned group training courses from the competent authorities concerned and also from the ex-participants and other people around them. We are quite sure that the information we acquired should be greatly useful for the purpose of improving this course and also the entire technical cooperation program of JICA.

Finally I would like to express my heartiest appreciation for your warm hospitality and kind cooperation extended to us during our stay in your country.

Yours faithfully

Yasuhisa SEO
Team Leader

SUMMARY REPORT

BY

THE FOLLOW-UP MISSION
OF THE GROUP TRAINING COURSES
IN THE FIELD OF
AGRICULTURAL EXTENSION SERVICE AND POST HARVEST RICE PROCESSING

EGYPT

DECEMBER 1994

INDEX

- I . OBJECTIVE
- II . PERIOD
- III . MEMBERS
- IV . SCHEDULE OF THE FOLLOW-UP TEAM
- V . INSTITUTIONS THE TEAM VISITED
- VI . IMPRESSION OF THE TEAM

I. OBJECTIVE

The aims of this follow-up mission are as follows:

- (1) To evaluate the courses by conducting the research on how much the result of the training is applied and how it affects to the field concerned in respective countries.
- (2) To research the overall sector of this training field in the countries the mission will visit, thus to seize the problems and needs in respective countries.
- (3) To improve the JICA's future training program in the field of Agricultural Extension Service and Post-Harvest Rice Processing.

II. PERIOD

From November 27 to December 3 (Egypt)

III. MEMBERS

- (1) Mr. Yasuhisa SEO, D. Agr.

(Team Leader, Survey and Technical Advice particularly on the field of Post-Harvest rice Processing)

Professor, Department of Agricultural Engineering
Faculty of Agriculture, The University of Tokyo

- (2) Mr. Sadao ISONO

(Survey and Technical Advice particularly on the field of Agricultural Extension Service)

Vice-Director General and Director of Foreign Affairs Division,
Japan Agricultural Development and Extension Association.

(3) Ms. Mika Yamamoto

(Planning and Coordination)

Training Officer, First Training Division,

Tokyo International Center, Japan International Cooperation Agency.

IV. SCHEDULE OF THE FOLLOW-UP TEAM (Egypt)

- 11/28 (Mon.)
 - Visit JICA Egypt Office
 - Courtesy Call on Embassy of Japan
 - Ministry of Foreign Affairs
 - Holding Company for Rice & Flour Mills
- 11/29 (Tue.)
 - RTTC (Rice Technology Training Center) in Alex.
- 11/30 (Wed.)
 - Alexandria Mills Company
 - RMC (Rice Mechanization Center)
& Rice Field in Kafr El-Shiekh
- 12/ 1 (Thu.)
 - Ministry of Agriculture
 - Report to JICA Office
 - Report to Embassy of Japan
 - Friendship Party

V. INSTITUTIONS IN EGYPT THE TEAM VISITED

- Ministry of Foreign Affairs
- Holding Company for Rice & Flour Mills
- Rice Technology Training Center
- Alexandria Mills Company
- Rice Mechanization Center & Rice Field in Kafr El-Shiekh
- Ministry of Agriculture

VI. IMPRESSION OF THE TEAM

There are several impression that the team has gotten.

The knowledge and technology which ex-participants acquired in Japan has been transferred effectively through training courses for participants in Egypt as well as the third African countries. Those training courses are quite well organized with respect to curriculum and facilities.

Since rice market became free in 1991, milling companies under the government organization have been forced to compete with private milling companies in the market. The companies under government sector which hold excessive employees and machineries of large capacity are now suffering from much higher operating cost than private millers. To cope with current crucial situations, the companies have been required to improve qualities of their milled rice so that they have become much quality-oriented. Thus, they have strong concerns with knowledge and instruments involved in quality of rice. And they also have strong interests in developing by-products of rice, lucrative methods for utilizing.

Some of ex-participants who participated over 10 years ago voiced the needs of their rehabilitation as well as latest information on knowledge and technologies concerning their present career.

Mentioning about the agricultural extension service, for example, running the third countries training, the idea and the method of

Agricultural Extension Service is very important. I expect that more effective training will be arranged with exchange of information among relevant organizations as well as ex-participants. For these days, the Free Market System was introduced in Egypt. Along with that new economic system, the farmer's economic condition has changed greatly. So that, their needs and requests for the Extension Service are changing so much. In that situation, improving Agricultural Extension System and the quality of extension officers (workers) is very important.

Finally we would like to express our heartfelt gratitude to all the respective authorities concerned, their superiors and our dear ex-participants for their kind cooperation, assistance and hospitality. We could not have carried out this work in the short time given to us if it had not been for tremendous help rendered by those who are concerned.

Thank you very much.